



NEC



はじめにお読みください

最初に電源を入れるときの、必読書!

接続に迷ったときは、この一冊!

学習ソフト「パソコンのいろは」で基本操作を練習!

VALUE STAR

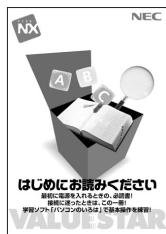
マニュアルを

使いこなす

各マニュアルの主な内容は表紙に書いてあります。

添付の「安全にお使いいただくために」は常に手元に置き、各マニュアルと合わせて必ずお読みください。

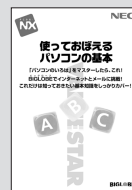
1
まずこれ!



2

準備ができたなら

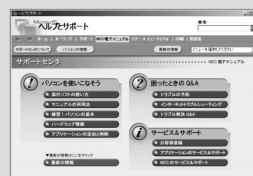
パソコン学習ソフト
「パソコンのいろは」



3



電子マニュアル
「サポートセンタ」



やりたいこと別マニュアルガイド

パソコンの接続とセットアップをしたい	はじめにお読みください
CD-ROM、DVD-ROM を使いたい	はじめにお読みください
マウスの使い方を知りたい	パソコンのいろは、使っておぼえるパソコンの基本
キーボードで文字を打ってみたい	パソコンのいろは、使っておぼえるパソコンの基本
インターネットや電子メールを利用したい	使っておぼえるパソコンの基本、サポートセンタ
ワープロを使いたい	使っておぼえるパソコンの基本
バックアップを取りたい	使っておぼえるパソコンの基本、困ったときの Q&A、サポートセンタ
CD-R/RW ドライブを使って、CD-R/RW メディアに書き込みたい	もっと知りたいパソコン
プリンタやオプション機器を取り付けたい	もっと知りたいパソコン
このパソコンの機能について詳しく知りたい	もっと知りたいパソコン、サポートセンタ
再セットアップしたい	困ったときの Q&A
パソコンが思うように動かない	困ったときの Q&A、サポートセンタ
どんなアプリケーションが入っているか知りたい	サポートセンタ
アプリケーションを追加したい、削除したい	サポートセンタ
年賀状やあいさつ状を作りたい	サポートセンタ
パソコン用語の意味を知りたい	サポートセンタ



はじめに

この本は、パソコンを買ったら最初にしなければならない、接続と準備について説明します。はじめてパソコンに触れる人でも、迷ったりすることなく、まちがえずに操作を進めていけるように作られています。

パソコンの置き場所や接続のしかた、パソコンを使えるようにするための準備作業などについて、ていねいに説明しています。また、パソコンの基本的な操作や、インターネット無料体験など、このパソコンを使い始めるときに役立つ、さまざまな説明があります。すでにパソコンを使ったことがある方も、この本は、必ず読んでください。

2001年5月 初版

このマニュアルの表記について

手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側のグレーの部分には、操作に関連する補足説明や用語解説などが記載されています。はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています



警告

注意事項を守っていただけない場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。



感電注意

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。



禁止事項を示します。



電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。



アース線を必ず接続するように指示するものです。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



チェック!!

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



ポイント

そこまでに説明した手順の中でとくに大切なポイントがまとめられています。後から応用するときのヒントとして利用してください。



参照

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
プリンタ、コネクタなど	「プリンター」や「コネクタ」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。
CD-R/RWドライブ	CD-R/RW with DVD-ROMモデルでは、CD-R/RW with DVD-ROMドライブのことを指します。
 「添付ソフトの使い方」	「スタート」-「NEC電子マニュアル」-「添付ソフトの使い方」を開き、各ソフトの使い方を参照することを示します。「添付ソフトの使い方」は、「ランチ-NX」から開くこともできます。
 「サポートセンタ」	「サポートセンタ」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートセンタ」は、画面右上の「サポートセンタ」をクリックして起動します。

このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

下記の表をご覧になり、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン	表の各モデル(機種)を指します。
液晶ディスプレイセットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
LANモデル	LANボードを搭載しているモデルのことです。
Office XPモデル	Microsoft® Office XP Personalがあらかじめインストールされているモデルのことです。

型名	型番	表記の区分			
		内蔵CD-R/RWドライブ・DVD-ROMドライブ	ディスプレイ	キーボード・マウス	LAN
VC1000J/8FD	PC-VC1000J8FD	CD-R/RW with DVD-ROMドライブ	液晶ディスプレイセットモデル（15型液晶）	ワイヤレスキーボード・ワイヤレスマウス	LANモデル
VC800H/8FD1	PC-VC800H8FD1				—

本文中の画面

本文中の画面はモデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)

(正式名称)

Windows、 Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Office XP Personal	Microsoft® Office XP Personal(Microsoft Word、 Microsoft Excel、Microsoft Outlook®, Microsoft Bookshelf® Basic 3.0)
インターネットエクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 5.5

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® Millennium Editionおよび本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、Windows、Office ロゴ、Outlook、Bookshelf は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

VirusScan は、米国法人 Network Associates, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

i-morning、アイモーニングは株式会社デジタルアドベンチャーの商標です。

アクティブメニュー NX は、日本電気株式会社の商標です。

BIGLOBE は、日本電気株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2001

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■ 輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っていません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

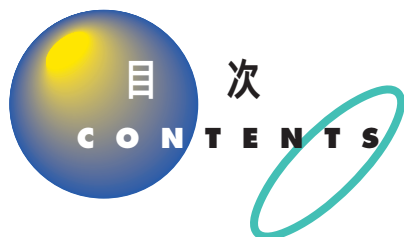
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.



はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii

PART

1



パソコンを置く場所を決めよう 1

置き場所を決める	2
パソコンを置くのに適した場所	2
パソコンを置くのに必要な広さ	3
インターネットするなら、パソコンは電話の近くに	4
パソコンを置くのに適さない場所	5
パソコンの近くに置いてはいけないもの	6
電波の影響を受ける環境で使うときの注意	7
電源の取り方	8
パソコンに必要な電源	8
パソコンの置き方	9
パソコン本体の梱包箱からの取り出し方	9
ディスプレイの梱包箱からの取り出し方	9
接続する前に	10
パソコンの周囲に添付品を置く	12
型名(型番)と製造番号を確認する	12

PART

2



パソコンの接続をする 13

接続するときの注意	14
パソコンを接続する手順	15
パソコン本体にスタビライザを取り付ける	16
両側にスタビライザを取り付ける	17
片側だけスタビライザを取り付ける	19
アースを接続する	20
ディスプレイを接続する	22
電話回線に接続する	24
電話機をパソコンにつなぐ	25
パソコンを電話回線につなぐ	25

PART



キーボードとマウスの準備をする	27
キーボードとマウスに乾電池を入れる	28
キーボードの足を立てる	29
パソコン本体の電源ケーブルを接続する	30
電源を入れてパソコンを使えるようにする ...	35
セットアップをはじめる	36
電源を入れる	36
キーボードとマウスを使えるようにする	37
セットアップをはじめる	42
マウスを動かしてみる	43
「次へ」をクリックする	44
使用許諾契約に同意する	45
このパソコンの機能を使えるようにする	48
お客様登録を行う	52
電源の入れ方と切り方	53
電源を入れる	53
電源を切る	54
CD-ROM などの扱い方	56
このパソコンの CD-R/RW with DVD-ROM ドライブで使える ディスク	56
CD-ROM、DVD-ROM、CD-R/RW の取り扱い上の注意	56
CD-ROM の入れ方と出し方	57
一時的に作業を中断する(省電力機能).....	61
休止状態とスタンバイ状態	61
パソコンを休止状態にする	62
休止状態から復帰する	62
パソコンをスタンバイ状態にする	63
スタンバイ状態から復帰する	63

PART



パソコンを使いはじめよう 65

デスクトップってなに? 66

アクティブメニュー NX を見る 68

これからの進め方 70

パソコンの基本操作を学ぶ 71

「パソコンのいろは」ってなに? 71

「パソコンのいろは」をはじめる前に 73

「パソコンのいろは」をはじめる 76

「パソコンのいろは」の進め方 78

「パソコンのいろは」を終わる 78

すべてのステップの練習が終わったら 79

インターネットに接続できることを確認する 80

ボタンひとつでインターネットに接続 80

インターネットを終了する 83

こんなときは 84

電子マニュアルを見る 88

「サポートセンタ」を見る 88

パソコンを使いこなそう 90

Windows のヘルプを見る 92

他のマニュアルに進んでみる 93

付 録 95

各部の名称と役割を覚えよう 96

音量を調節する 98

索 引 99

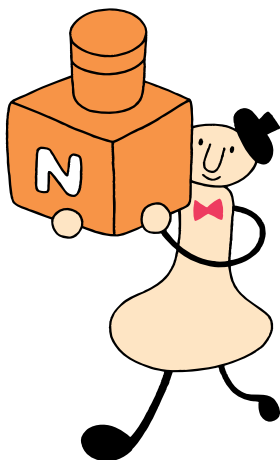


P A R T

1

パソコンを置く場所を決めよう

まず最初にパソコンを置く場所を決めましょう。パソコンは精密機械ですから、置き場所についてはいくつか気をつけなければいけないことがあります。説明をよく読んで置き場所を決めたら、梱包箱からパソコンを取り出します。



置き場所を決める



まず、パソコンを置く場所を決めましょう。パソコンには、置くのに適した場所、適さない場所があります。また、パソコンの近くに置いてはいけないものもあります。

⚠ 注意



感電注意

液体がかかる場所や湿気が多い場所に置かないでください。



発火注意

パソコンを、水や油などの液体がかかる場所、湯気があたる場所、湿気が多い場所に置くと、感電の原因になります。



発火注意

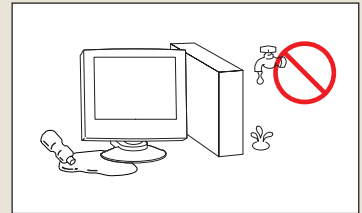
パソコンを屋外に置かないでください。また、船舶、車輛などの内部では使用しないでください。



けが注意

ケーブル類を整理してください

ケーブル類を整理していないと、つまづいたり引っかけたりしてけがの原因となります。またパソコンが倒れ故障の原因となります。

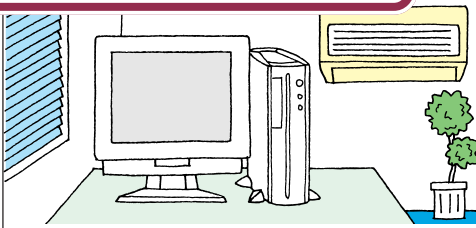


パソコンを置くのに適した場所

1

屋内

パソコンは必ず屋内に置いてください。



2

温度 10℃～35℃(結露しないこと)

湿度 20%～80%

温度や湿度は、それほど気にする必要はありません。一応の目安として考えてください。

3

平らで十分な強度がある台の上

(パソコンが落ちるおそれがないこと)

パソコンを置くのに適当な台がない場合は、市販のパソコンラックなどを使うこともできます。使いやすさをよく考えて選びましょう。

また、本体の転倒防止のために、添付のスタビライザを取り付けてください。

4

ホコリが少ない

パソコンにホコリは大敵です。ホコリの少ない場所を選んでください。

用語

結露

空気中の水分が金属板などの表面に触れて水滴となる現象です。寒い屋外から暖かい室内に入るとメガネが曇ったりするのも、結露の一例です。パソコンを温度の低い場所から暖かい部屋に持ち込んだりすると、機械の外側や内部に結露することがあります。このようなときは、電源を入れずに1時間以上置いておき、結露が収まるのを待ってから使ってください。

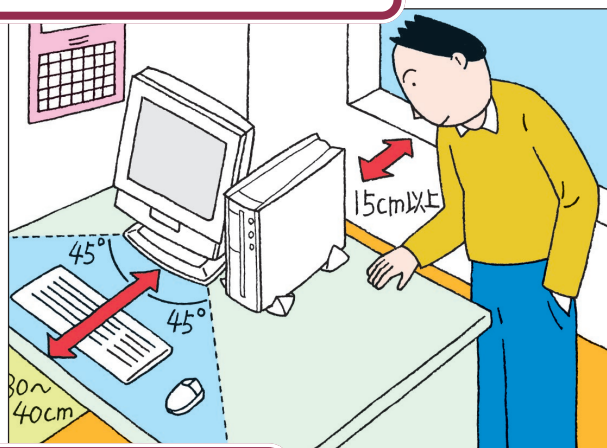
パソコンを置くのに必要な広さ

パソコンを設置するときには、キーボードやマウスを置く場所や、配線のためのスペースが必要です。

このパソコンのキーボードとマウスはケーブルを接続しないため、すっきりした環境で利用できます。

1

パソコン本体の後ろ側に約 50 cm
(最低 15 cm 以上)

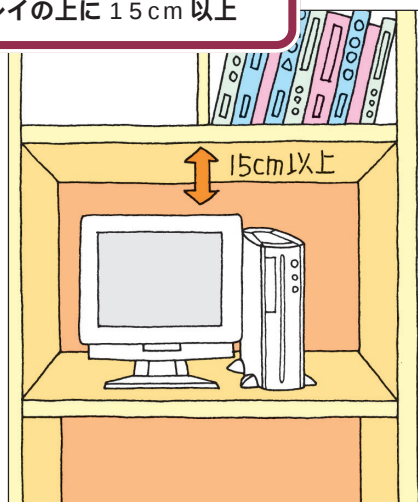


2

パソコン本体の前側に
約 30 ~ 40 cm

3

ディスプレイの上に 15 cm 以上



本体の後ろ側には通風孔があるので、壁などから最低でも15cm離す必要があります。しかし、それだけではあとで配線をするときに大変です。50cm程度の余裕があれば、パソコンの後ろ側がよく見えるので、接続の作業が楽になります。

キーボードを置くためには、約20cm必要です。ゆったりとキーを打つためには、さらに約10~20cmの余裕があったほうがよいでしょう。また、キーボードとマウスはディスプレイから45度の範囲で使用することをおすすめします。

このパソコンのキーボードとマウスは、無線でパソコンに信号を送るため、パソコン本体にケーブルを接続する必要はありません。

このパソコンと同じパソコンを複数台、同時に使うこともできます。この場合、混信、妨害が起こらないように、使用周波数のチャンネル設定を変更する必要があります。

参考

チャンネルの変更→『困ったときのQ&A』PART2の「マウス、キーボード」の「マウス、キーボードが正しく動作しない(ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボードの場合)」

意外に忘れがちなのが、パソコンの上の空間です。パソコン本体の天面(上側)やディスプレイの背面にも通風孔があるので、通風孔と棚の天板などとの間を最低でも15cmあけてください。また、パソコン本体やディスプレイに布などをかけて通風孔をふさがないようにしてください。

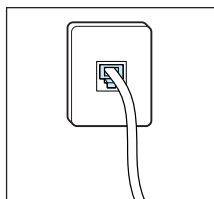
パソコン本体を壁などの安定した場所に接しておけば、スタビライザを片側に取り付けるだけで、転倒防止できます。

インターネットするなら、パソコンは電話の近くに

インターネットなど、パソコンの通信機能を利用するには、パソコンを電話回線に接続する必要があります。あらかじめ、ケーブルが電話回線の接続口が届く場所に、パソコンを設置しておくことをおすすめします。また、電話回線の接続口によっては、パソコンを接続できない場合がありますので確認しておきましょう。

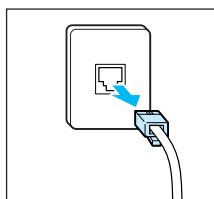
1

現在使っている電話機の
電話線接続口を調べる



2

電話線のプラグが簡単に
抜けることを確かめる



⚠ 注意

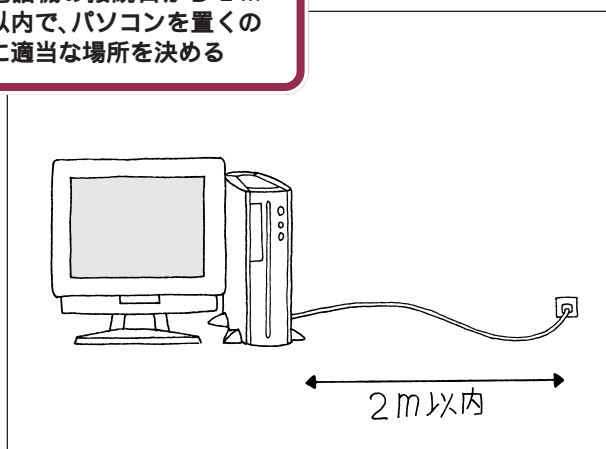


感電注意

モジュラーケーブル(電話線)を取り外したり、接続するときには、プラグの端子部分に触れないでください。感電の原因になります。

3

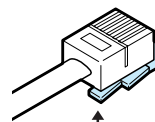
電話機の接続口から 2 m
以内で、パソコンを置くの
に適当な場所を決める



このパソコンを電話回線に接続するためのケーブルは、2 mの長さのものが添付されています。

電話機の本体から電話線をたどっていくと、電話回線の接続口を見つけることができます。図のように電話回線を簡単に取り外せるような接続口(モジュラーコンセントと呼びます)になっていない場合、電話工事が必要になることがあります。詳しくは、お近くの電話工事店またはNTTにお問い合わせください。

電話線のプラグには、上下のどちらかにツメが付いています。このツメを指でつまんで押さえるようにすると、簡単に抜くことができます。



このツメを押さえて
取り外しができる

用語

モジュラーケーブル

通常は、電話回線の接続口(モジュラーコンセント)と電話機を接続するのに使われるケーブルです。パソコンを電話回線の接続口につなぐときも、同じケーブルを使います。電器店などで購入できます。

モジュラーケーブルが電話回線の接続口に届かないときは

添付のモジュラーケーブルでは長さが足りないときは、お近くの電器店またはパソコン販売店などで、必要な長さのモジュラーケーブルをお買い求めください。

パソコンを置くのに適さない場所



パソコンを接続したときに、ケーブル類が人の通る床をはっていると、足に引っかけるなどしてけがやパソコンの故障の原因となり危険です。

パソコンの近くに置いてはいけないもの

扇風機や大型のスピーカ、温風式こたつなど
(磁気を発生するもの、磁気を帯びているもの)



パソコンは磁気の影響を受けやすいので、強い磁気が近くにあるとディスプレイの表示が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。

パソコン用スピーカなど、磁気をもらさない(防磁設計)スピーカは近くに置いても構いません。

温風式コタツも磁気を発生するので、パソコンを温風式コタツの上に置かないでください。

ストーブなどの暖房器具

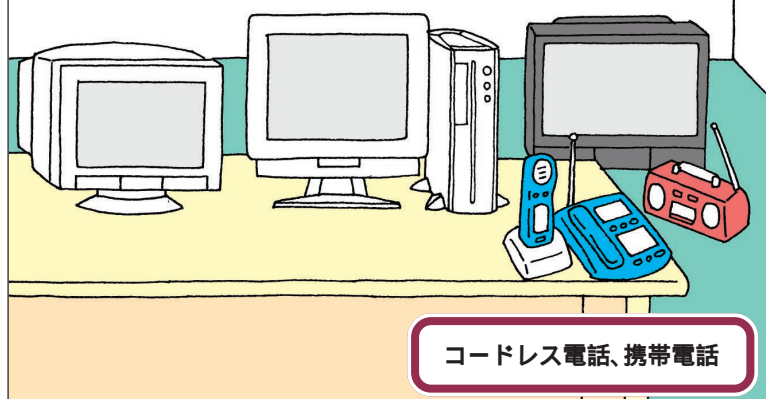
暖房器具の近くにパソコンを置くと、熱でパソコンが変形したり、異常な動作をすることがあります。

薬品によっては、付着するとパソコンが溶けたり、変形したりすることがあります。

他のディスプレイの表示が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。

他のディスプレイ

テレビ、ラジオ



テレビやラジオにノイズが入ることがあります。

コードレス電話や携帯電話などで通話中のときにノイズが入ることがあります。また、パソコンも電波の影響を受けてスピーカにノイズが入ることがあります。

電波の影響を受ける環境で使うときの注意

このパソコンを次のような環境で使用すると、周辺からの電波の影響を受けて、キーボードやマウスがうまく動作しないことがあります。

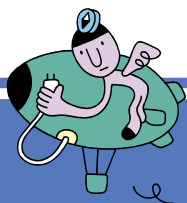
- ・ このパソコンのディスプレイを、スチール机やスチール棚のような金属製の物の上に置いている
- ・ ディスプレイの前に周辺機器を設置している
- ・ このパソコンと隣接した場所で、同じ無線方式のパソコンを使用している
- ・ このパソコンと隣接した場所で、電気機器を使用している
- ・ このパソコンで使用している周波数帯と同じ周波数帯を使用している電気機器(市民無線、漁業無線、アマチュア無線など)を使用している
- ・ コードレス電話や携帯電話などで話中のとき

上のような電波の影響を受ける環境で、このパソコンを使う必要がある場合、キーボードやマウスがうまく動作しないときは、チャンネル(使用周波数)を変更してみてください。

参照

チャンネルの変更 → 『困ったときのQ&A』PART2 の「マウス、キーボード」の「マウス、キーボードが正しく動作しない(ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボードの場合)」

電源の取り方



パソコンの電源の取り方はとても大切です。コンセントの位置や数をよく確認しておきましょう。

⚠ 注意



感電注意



発火注意

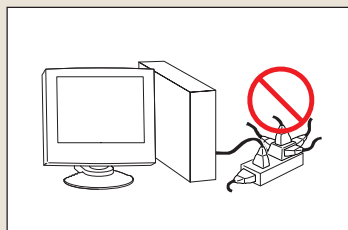
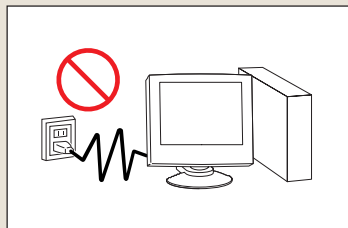
- ・電源ケーブルが折れ曲がった状態で使用しないようにしてください。

電源ケーブルが折れ曲がると、ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因になります。

- ・AC100V(50/60Hz)の電源が使える場所に置いてください。

・AC100V(50/60Hz)以外の電圧で使用する
と、感電、発煙、火災の原因となります。

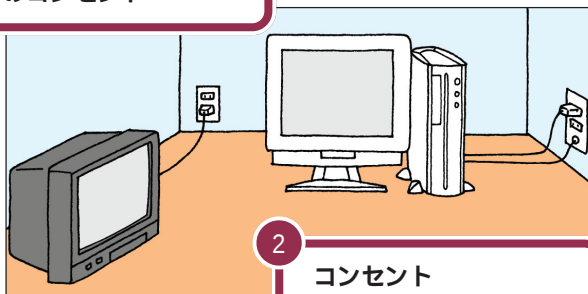
・タコ足配線にならないように、コンセントから直接電源が取れる場所に置いてください。電源ケーブルをタコ足配線にすると、コンセントが過熱して火災の原因になります。



パソコンに必要な電源

1

テレビ、ラジオなどとは別のコンセント



2

コンセント

パソコン本体用

アース端子

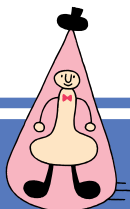
本体のアース線を接続する

テレビ、ラジオなどと同じコンセントを使うと、テレビ、ラジオに雑音が入ることがあります。

パソコン本体の電源を取ります。電源はコンセントから直接取ってください。コンセントが足らず、パソコン用のテーブルタップ等を使う場合も、コンセントとテーブルタップの合計電力を必ず守ってください。

コンセントにアース端子がない場合は、他の方法でアースを取っても構いませんが、その場合は必ずお近くの電器店など電気工事士の資格を持った人にアース端子付きコンセントの取り付けを相談してください。

パソコンの置き方



パソコンを箱から取り出すときは、2人で作業してください。持ち運んだり置いたりするときは慎重に。

⚠ 注意



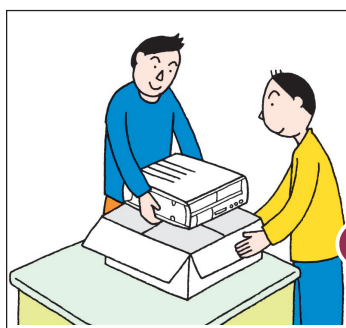
パソコン本体を取り出すときは、パソコン本体を持って取り出してください。

パソコン本体を持たずに、衝撃吸収用の段ボールを持って取り出すと、パソコン本体が抜け落ち、けがやパソコン本体の破損の原因となります。

✓ チェック!!

パソコン本体を取り出すときは、CD-ROM ドライブのシャッターに触れないようにしてください。

パソコン本体の梱包箱からの取り出し方



1

パソコン本体の箱から、パソコン本体をしっかりとって、ゆっくり上に引き出す

2

パソコン本体を静かに置く

パソコン本体を取り出して、ビニール袋から取り出すときも、パソコン本体に衝撃を与えないよう、慎重に行ってください。

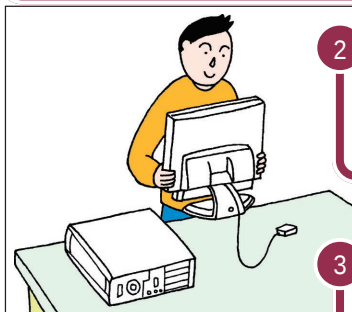
机の上やパソコンラックなど、あらかじめ決めておいた設置場所に置いてください。

あとでパソコン本体にスタビライザという台を取り付けて縦に置きますが、それまでは横向きに置いておきましょう。

ディスプレイの梱包箱からの取り出し方

1

パソコン本体と同じように、ディスプレイを、慎重に箱から取り出す



2

ディスプレイの画面が見えるほうに立ち、ディスプレイの左右の端をしっかりと持つ

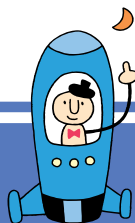
3

ディスプレイをパソコン本体の横に置く

✓ チェック!!

取り出すときには、ディスプレイの液晶パネルの表面や外枠を強く押さないように注意してください。画面に干涉縞が発生するなど、表示異常の原因になります。

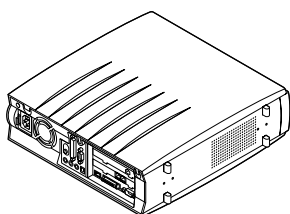
接続する前に



接続を始める前に、必要な機器が揃っているか確認しておきましょう。ここでは、添付品のうち、接続に使用するものだけを記載しています。

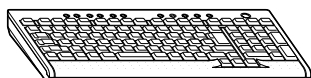
1

パソコン本体



2

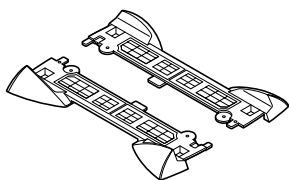
キーボード



● 添付品収納箱に入っているもの

1

スタビライザ



2

スタビライザ取付け用ネジ



ビニール袋に2本入っています。
スタビライザと一緒に収納されています。

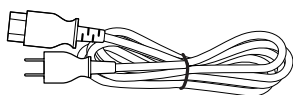
3

マウス



4

本体電源ケーブル



5

モジュラーケーブル



6

アルカリ乾電池



単3形が2本、単4形が2本
入っています。

他に、プラスドライバーを準備してください。スタビライザの取り付け、アース線の接続に必要です。

7

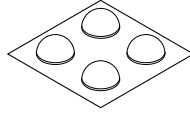
アース線



緑色の電線です。

8

ゴム足

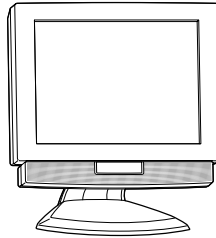


パソコン本体を横置き
にするとときに使います。

• ディスプレイ梱包箱に入っているもの

1

液晶ディスプレイ



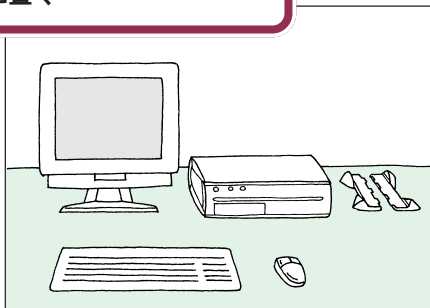
✓ **チェック!!**

液晶ディスプレイの形状は、モデルに
よって異なります。

パソコンの周囲に添付品を置く

1

下のイラストのように、
添付品をパソコンの周囲
に置く



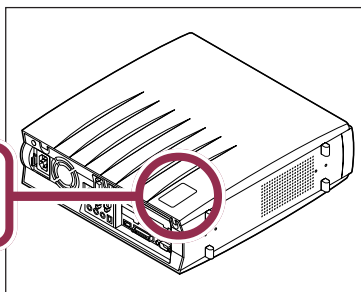
だいぶパソコンらしい姿になってきましたね。それぞれの接続方法については、次の PART で説明しています。

あとでパソコン本体にスタビライザという台を取り付けて縦に置きますが、それまでは横向きに置いておきましょう。

型名(型番)と製造番号を確認する

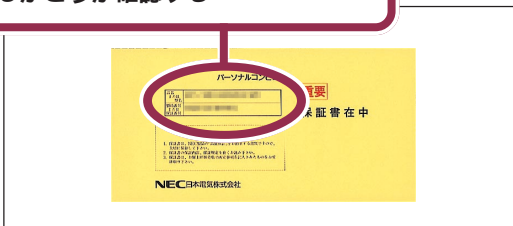
1

本体左側面の型名(型番)
と製造番号を確認する



2

保証書の記載と ① で確認した番号が
同じかどうか確認する



3

ディスプレイ本体とディスプレイの保証書を
同様に確認する
ディスプレイの製造番号は底面に記載されています。

✓ チェック!!

本体左側面と保証書の記載が異なっていた場合は、ご購入元に連絡してください。

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入のうえ、お受け取りになり、保管しておいてください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元または、NEC にお問い合わせください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

📖 参照

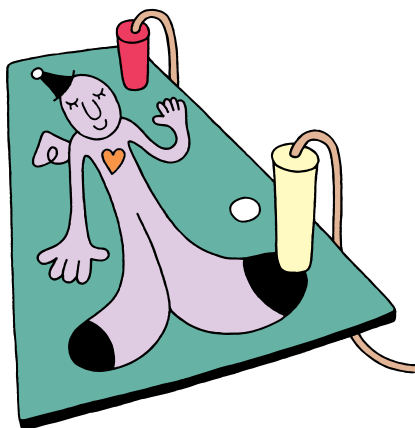
NEC のお問い合わせ先 → 『121ware ガイドブック』

P A R T

2

パソコンの接続をする

パソコンは精密機器ですから、倒れたりしないように設置することが大切です。また、乾電池の入れ方や、電源ケーブルのつなぎ方を間違えると、パソコンは働いてくれません。このあとの説明や安全上の注意事項を必ず読んで、慎重に作業していきましょう。



接続するときの注意



パソコンを安全にお使いいただくために、必ず次の注意事項を守ってください。

警告



感電注意

雷が鳴り出したら、電源ケーブル、ディスプレイのケーブル、ACアダプタ、モジュラーケーブル(電話線)の接続作業を中止してください。

落雷による感電のおそれがあります。

注意



感電注意

必ず本体にアース線を接続してください。
アース線を接続しないと、感電の原因になります。



感電注意

アース線を接続するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
感電の原因になります。



感電注意

周辺機器を接続するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
感電の原因になります。



発火注意

電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
ケーブルを引っ張って抜くと、断線して火災の原因となります。



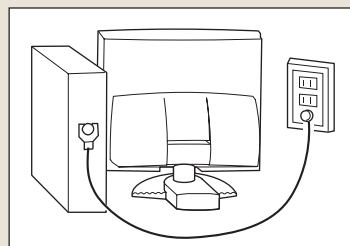
けが注意

ケーブル類は、つまずいたりひっかけたりしないように整理してください。



けが注意

本体を横置きにするときは、必ず添付のゴム足を取り付けてから横置きにしてください。落下するおそれがありますので、本体の上には、ものを置かないでください。



プリンタなど、周辺機器の接続は、あとから

プリンタや別売の周辺機器がある場合、まだ接続しないでください。このマニュアルの「PART3 電源を入れてパソコンを操作できるようにする」の操作を先に完了させる必要があります。そのあとで『もっと知りたいパソコン』をご覧になり、接続と設定を行ってください。



パソコンを接続する手順

これから始めるパソコンの接続は、次の手順で行います。接続をはじめる前に、よく確認しておいてください。

パソコン本体にスタビライザを取り付ける

取り付けにはプラスドライバー（ねじ回し）が必要です。



アースを接続する

接続にはプラスドライバー（ねじ回し）が必要です。



ディスプレイを接続する



インターネットを
利用したい方は

電話回線に接続する

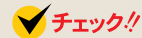


キーボードとマウスに乾電池を入れる



パソコン本体の電源ケーブルを接続する

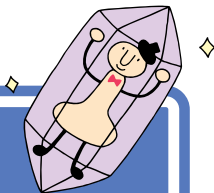
次ページから記載されている手順にしたがって、接続を行ってください。疲れたら途中で休憩しても構いません。接続するときは、パソコン本体のコネクタにあるマーク（LCD など）の色と、ケーブルのプラグの色を合わせて接続してください。接続がすべて終わったら、p.32の接続完成図で、正しく接続されているか確認してみましょう。



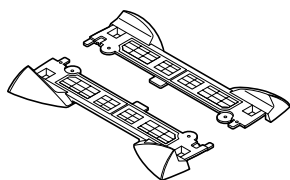
接続の途中で電源スイッチを押さないように注意してください。

パソコン本体に スタビライザを取り付ける

本体を安定させるためにスタビライザ(縦置き用の台)を取り付けましょう。



用意するもの



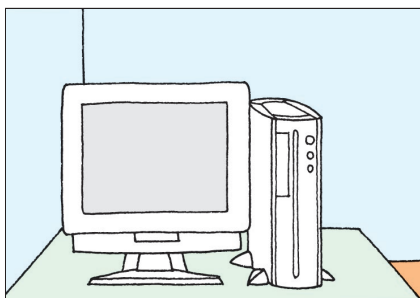
スタビライザ(2個)



スタビライザ
取付け用ネジ(2個)

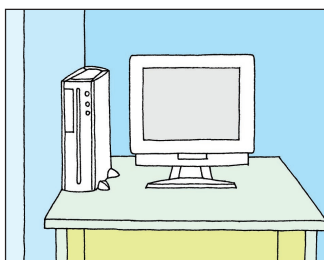
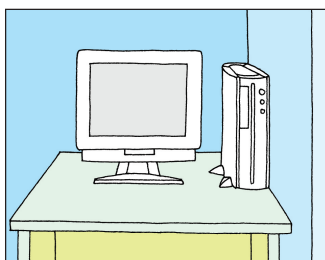
スタビライザの取り付け方には、2通りの方法があります。

●両側に取り付ける(→次ページ)



●片側だけに取り付ける(→ p.19)

下のイラストのように、スタビライザを片方だけ取り付けることで、壁などの安定した場所に接して置くこともできます。

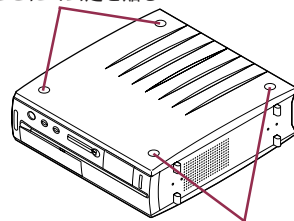


パソコン本体を横置きにする場合

パソコン本体を横置きにする場合は、ゴム足をつける必要があります。添付のゴム足(p.11)を用意してください。このときは、スタビライザは取り付ける必要はありません。

ゴム足は両面テープで貼ります。シートをはがしてから貼ってください。

ここにゴム足を貼る



ここにゴム足を貼る



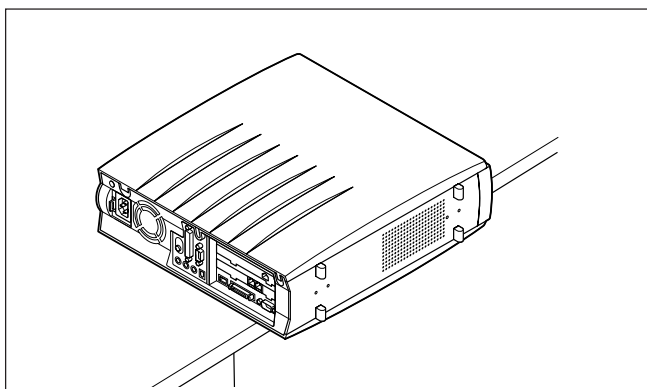
チェック!!

- ・ 取り付ける際に、本体とゴム足がはがれないように、ゴム足が接着する面をよくふいてください。
- ・ 横置きにする場合は、落下のおそれがありますので、パソコン本体の上には、ものを置かないでください。

両側にスタビライザを取り付ける

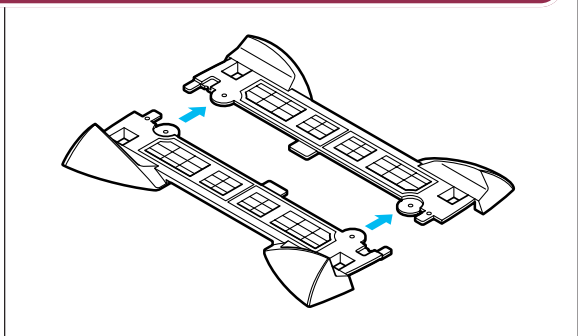
1

パソコン本体を、スタビライザの高さの分くらい底面がはみ出るように、机の端などに置く



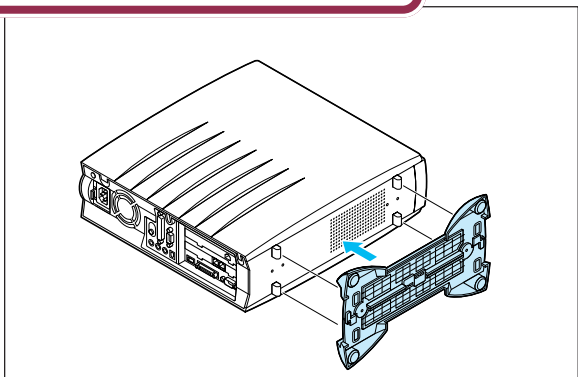
2

2つのスタビライザを組み合わせる
スタビライザを組み合わせても固定されません。落とさないように必ず両方を持つようにしてください。



3

パソコン本体底面の突起に、組み合わせたスタビライザをはめる

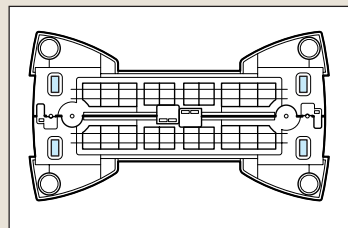


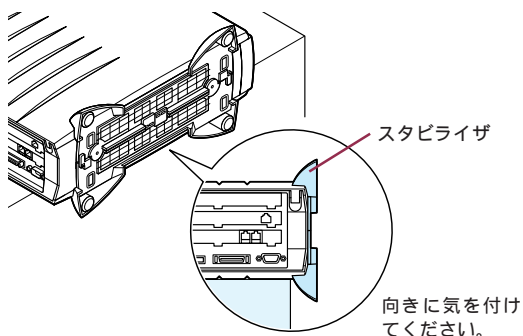
✓ チェック!!

本体を横に倒すときは、本体を安定させるためや、机やテーブルなどを傷つけないために、下に厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

本体にスタビライザをはめたら、落ちないように片手で押さえてください。

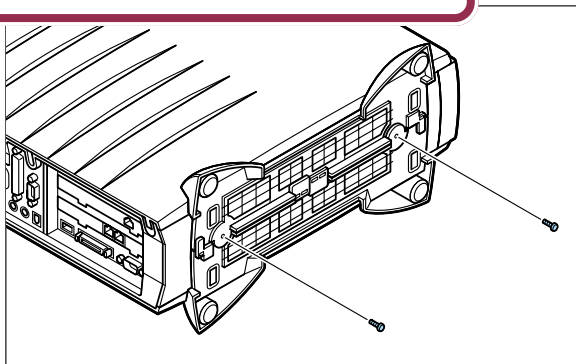
図の青い部分に本体底面の突起がはまります。





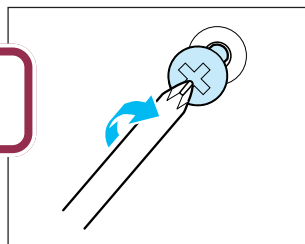
4

スタビライザの「1」と書かれたネジ穴に
スタビライザ取り付け用ネジをはめる



5

ネジを右へ回して取りつける
(2カ所)



6

パソコン本体を持ち、静かに縦に置く



ネジは必ず添付されているものを使ってください。

また、ドライバーは、ネジに合ったものをお使いください。合わないドライバーを使って無理にネジを回すと、ネジが壊れることがあります。

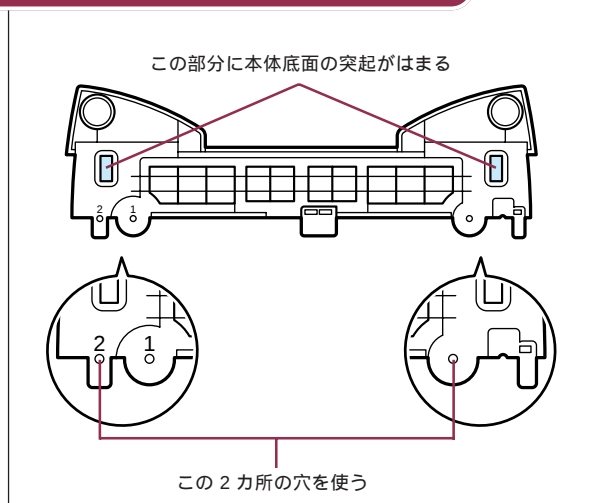
お使いの機種によっては、ネジの形状が異なる場合があります。

片側だけスタビライザを取り付ける

1

パソコン本体底面の突起がはまる位置と、ネジ穴の場所を確認する

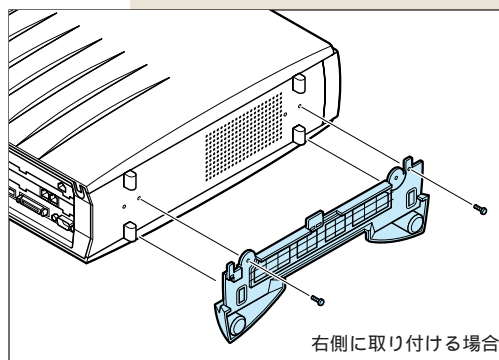
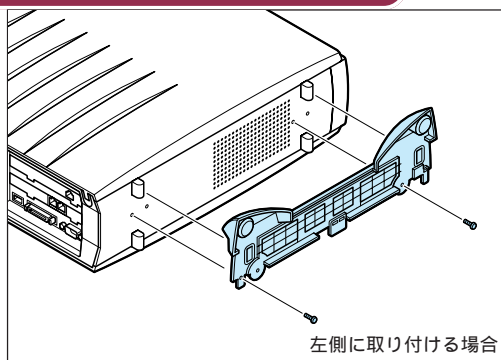
青い部分に本体底面の突起がはまります。ネジ穴は、図の2カ所の穴を使います。

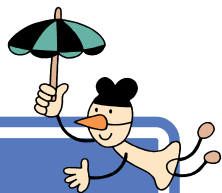


どちらのスタビライザを使用しても同じです。

2

パソコン本体底面の突起にスタビライザを片方だけはめて、2本のネジで取り付ける





アースを接続する

パソコン本体の背面にあるアース端子のネジをゆるめて、アース線の端子を取り付けます。それからコンセントのアース端子に接続します。

⚠ 注意



発火注意

アース線は、絶対にガス管につながらないでください。
火災の原因になります。



感電注意

アース線の接続や取り外しを行うときは、必ず本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

感電の原因になります。

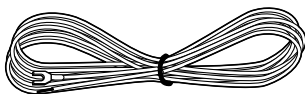


用語

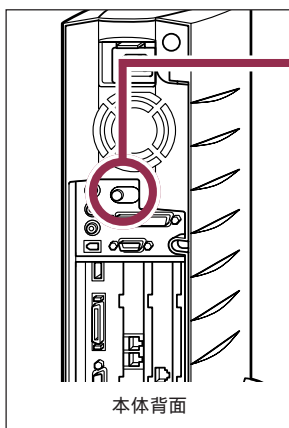
アース線

感電を防止するための電線です。パソコンのアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

用意するもの



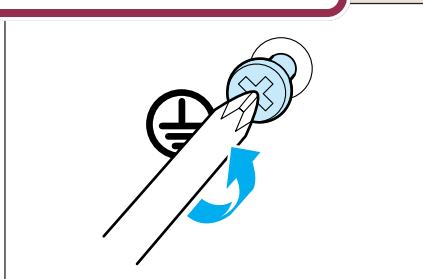
アース線（緑色の電線です。）



本体背面

1

本体背面の⚡の付いたネジをゆるめる

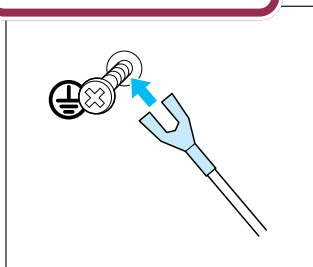


ドライバーはネジに合ったものをお使いください。合わないドライバーを使って無理にネジを回すと、ネジが壊れることがあります。

お使いの機種によっては、ネジの形状が異なる場合があります。

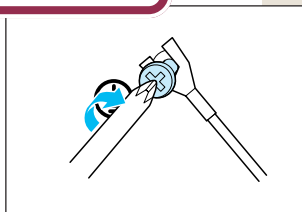
2

アース線の端子を
すき間に差し込む



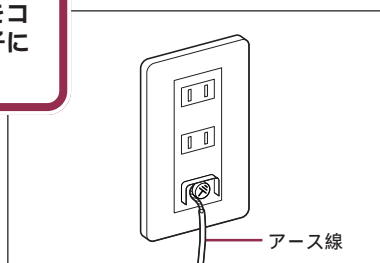
3

ネジをしめる



4

アース線のもう一方をコ
ンセントのアース端子に
接続する

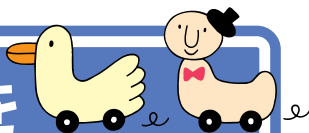


✓ **チェック!!**

- ・ アース線は水道管につながないでください。アースできない場合があります。
- ・ アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。
- ・ アース端子付きのコンセントが利用できない場合には、お近くの電器店など電気工事士の資格を持つ人にアース端子付きコンセントの取り付けをご相談ください。

ディスプレイを 接続する

ディスプレイのケーブルを、本体背面に接続します。

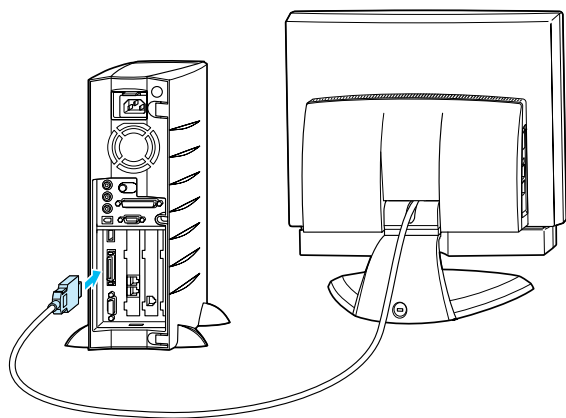


用語

ディスプレイ

パソコンの画面を表示する道具です。「モニター」と呼ばれることもあります。テレビのような形をしています。絵や文字を表示するための信号はパソコンから受け取っているため、ディスプレイだけでは何も見ることはできません。

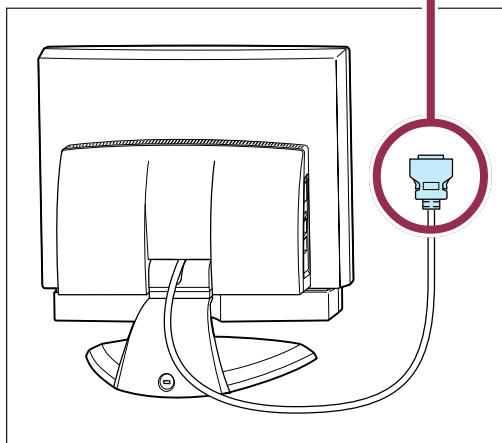
ディスプレイの接続のしかた

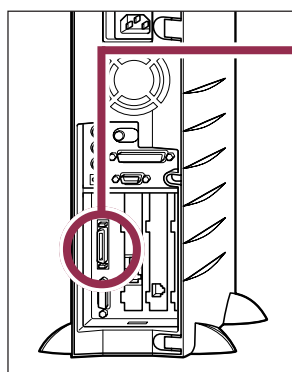


ディスプレイのケーブルを本体に接続します。プラグを奥までしっかり差し込みます。詳しくは次の手順をご覧ください。

1

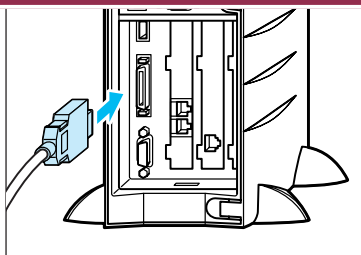
ディスプレイのプラグを持つ





2

本体背面の **LCD** の付いたコネクタに、プラグを奥までしっかり差し込む
奥まで差しこむと、カチッと音がします。



台形の金具の長い辺が右側になるように差し込む

ディスプレイに電源ケーブルを接続する必要はありません。

ディスプレイに電源ケーブルを接続する必要はありません。ディスプレイのケーブルをパソコン本体に接続するだけで、パソコン本体から電源が供給され、ディスプレイが使えるようになります。

✓ チェック!!

- ・プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向（左右の向き）を確認してください。力まかせに押し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。
- ・プラグを差しこむときは、左右均等に力を加えながら奥までしっかり差し込んでください。

電話回線に接続する



インターネットを利用したり、このパソコンで「NEC オンラインお客様登録」を行うときには、電話回線に接続する必要があります。最初に、いまお使いの電話機を取り外してからパソコンにつなぎ換えます。次に、パソコンを直接電話回線に接続します。この操作を行っても、電話機はいままで通り使えます。

⚠ 注意



モジュラーケーブル(電話線)の取り外しや接続を行うときは、プラグの端子部分に触れないでください。感電の原因となります。

用意するもの



モジュラーケーブル

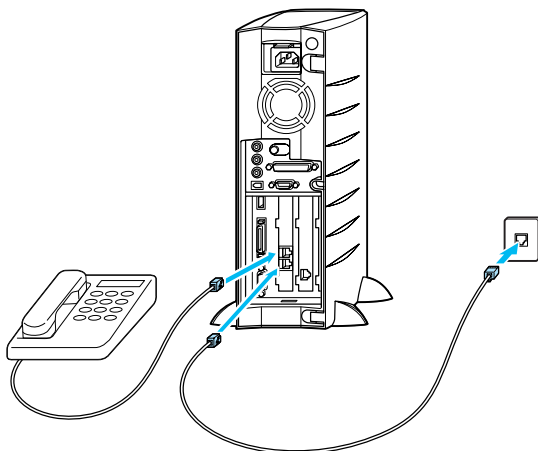
✓ チェック!!

- ・「インターネット無料体験」や「NEC オンラインお客様登録」を利用するときは、まずはここに記載の方法にしたがって電話回線への接続を行ってください。
- ・パソコンを電話回線に接続するには、電話回線の接続口がモジュラーコンセントになっている必要があります。
- ・添付のモジュラーケーブルでは長さが足りない場合は、電器店などで必要な長さのモジュラーケーブルをお買い求めください。

📖 参照

モジュラーコンセント、モジュラーケーブル→PART1の「インターネットするなら、パソコンは電話の近くに」(p.4)

電話回線の接続のしかた

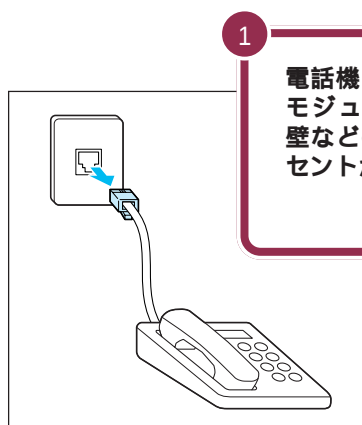


電話機のケーブルをモジュラーコンセントから外して本体に接続します。次に、添付のモジュラーケーブルを使って、本体とモジュラーコンセントを接続します。詳しくは次の手順をご覧ください。

✓ チェック!!

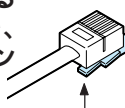
接続のときは、LANボード(LANモデルの場合)のコネクタと間違わないように注意してください。

電話機をパソコンにつなぐ



1

電話機につながっている
モジュラーケーブルを、
壁などのモジュラーコン
セントから外す

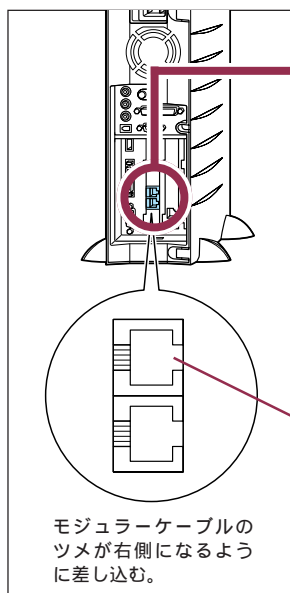


このツメを押さえて取り外す

モジュラーケーブル(電話線)のプラグには、上下のどちらかにツメが付いています。このツメを指でつまんで押さえるようにすると、簡単に抜くことができます。

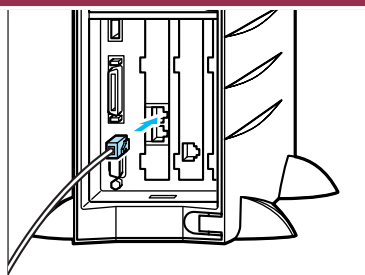
✓ **チェック!!**

電話機のモジュラーケーブルを取り外すと、パソコンを電話回線に接続するまでの間、電話機は使用できなくなります。



2

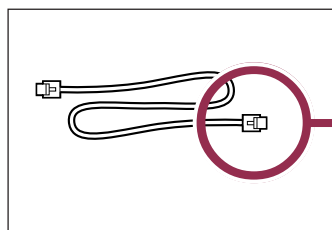
電話機のモジュラーケーブルのプラグを、向きに気をつけて、本体背面の ☎ の付いたコネクタに差し込む



ここにもモジュラーケーブルのツメがはまります。

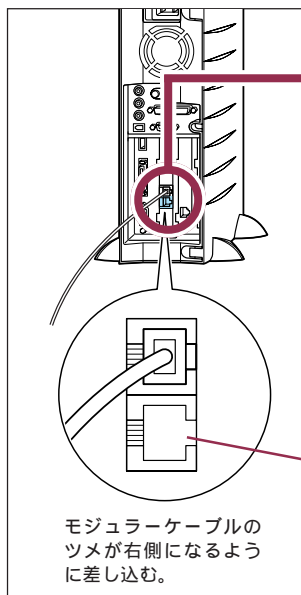
モジュラーケーブルのツメが右側になるように差し込む。

パソコンを電話回線につなぐ



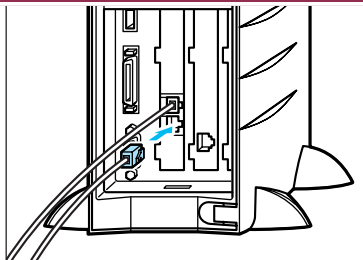
1

添付のモジュラーケーブルのプラグを持つ
どちらのプラグでも構いません。



2

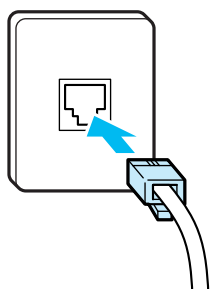
添付のモジュラーケーブルのプラグを、向きに気をつけて、本体背面の□の付いたコネクタに差し込む



ここにモジュラーケーブルのツメがはまります。

3

もう一方のプラグを壁などのモジュラーコンセントに差し込む



また、このパソコンには次のような機能が搭載されています。

- LAN (LAN モデルの場合)
100BASE-TX/10BASE-T コネクタが内蔵されており、LANケーブルを使ってLANなどのネットワークへ接続することができます。
LANについて詳しくは『もっと知りたいパソコン』をご覧ください。

パソコンを電話回線に接続すると、電話機はこれまで通り使うことができます。パソコンの電源が入っていてもいなくても関係ありません。

✓ チェック!!

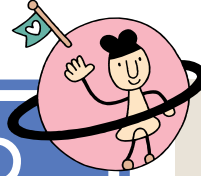
パソコンと電話回線をつなぐモジュラーケーブルや、電話機とパソコンをつなぐモジュラーケーブルは、人の通る場所を避けて配線してください。うまく配線できないときは、お近くの電話工事店やパソコンのご購入元などにご相談ください。

📖 参照

LAN について → 『もっと知りたいパソコン』の「PART4 LAN ボードを使う (LAN モデルのみ)」

キーボードとマウスの準備をする

キーボードとマウスに添付の乾電池を入れます。



用語

キーボード

パソコンで文字や数字を書くための道具です。キーボード一面に並んでいる押しボタンのことを「キー」と呼びます。いまはまだ、それぞれのキーの意味や働きについて気にする必要はありません。

用語

マウス

パソコンを操作するための道具です。パソコンの画面に出てくるボタンを押したりするときに使います。机の上で動かして使います。

警告



毒物注意

乾電池は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない所へ保管してください。乾電池内部には有害物質が含まれているため誤って飲み込んだり、なめたりすると危険です。万が一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

注意



毒物注意

乾電池を分解しないでください。
有害物質が出て人体に悪影響を及ぼすことがあります。



けが注意

乾電池の内部の液がもれたときは、液に触れないでください。

やけどのおそれがあります。万一、液に触れた場合は水でよく洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。



破裂注意

乾電池をショートさせないでください。
乾電池が破裂して、けがや火災の原因になります。



けが注意

乾電池を火の中へ入れないでください。
破裂して、けがや火災の原因となります。



発火注意

乾電池は必ず「アルカリ乾電池」を使用し、+（プラス）、-（マイナス）を正しく入れてください。
アルカリ乾電池以外の乾電池を使用したり、電池を正しく入れないと、破裂して、けがや火災の原因となります。

乾電池を充電したり、直接ハンダ付けしたりしないでください。

破裂して、けがや火災の原因となります。

チェック!!

古い乾電池を廃棄する場合は、地方自治体の条例にしたがって廃棄してください。

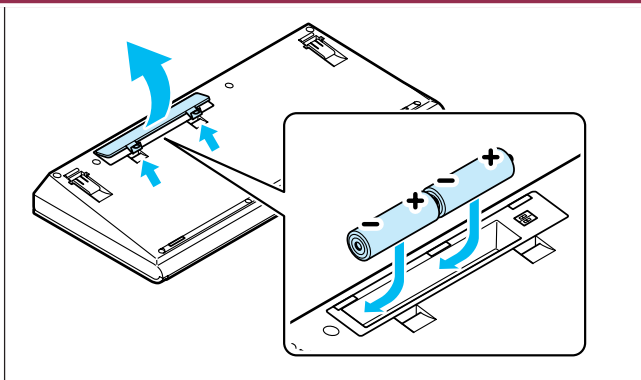
キーボードとマウスに乾電池を入れる

このパソコンのキーボードとマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。ケーブルでパソコンと接続する必要はありません。

これらの機器は乾電池を入れて使います。裏面の電池カバーのツメに指をかけて、引き上げるとフタが外れます。乾電池を入れたら、電池カバーを元に戻します。

1

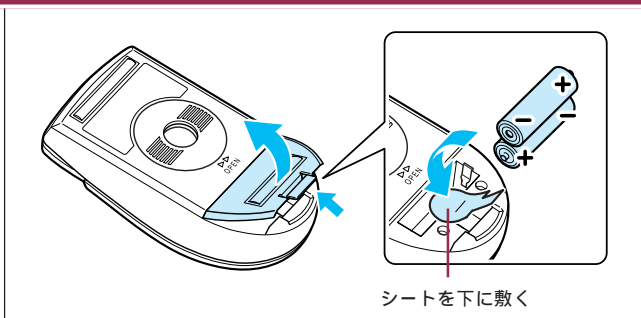
キーボードに、添付の単3形アルカリ乾電池2本を入れる



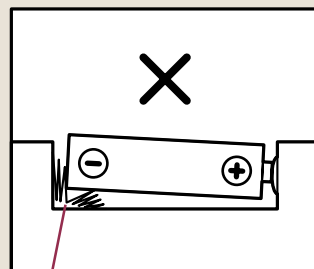
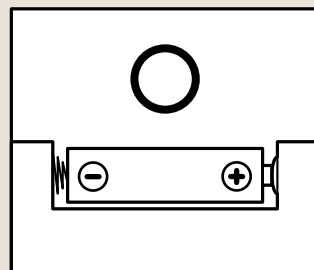
2

マウスに、添付の単4形アルカリ乾電池2本を入れる

内部についているシートを下に敷いて、乾電池を入れます。乾電池を取り出すときは、シートを引き抜くようにして乾電池を取り出します。



乾電池は-(マイナス)側から正しく入れてください。



-(マイナス)側のパネを横に曲げないようにしてください

✓チェック!

乾電池は誤った使い方をすると破裂するおそれがあります。次のことに注意してください。

- ・必ず「アルカリ乾電池」を使用してください。充電池(ニカド電池、ニッケル水素電池など)、マンガン乾電池は使わないでください。
- ・長い間使わないときは、乾電池を取り出してください。
- ・+(プラス)と-(マイナス)の向きを、それぞれの電池ボックス内の表示通りに入れてください。
- ・新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- ・乾電池を交換するときは、すべての乾電池を新しいものと交換してください。
- ・古い乾電池を廃棄する場合は、地方自治体の条例にしたがって廃棄してください。

●キーボード、マウスの使える範囲

キーボードとマウスは無線でパソコンに信号を送ります。信号の受信機は、ディスプレイに内蔵されています。キーボードとマウスはディスプレイから約1m以内、左右約45度以内の範囲でお使いください。



●マウス、キーボードの電池寿命

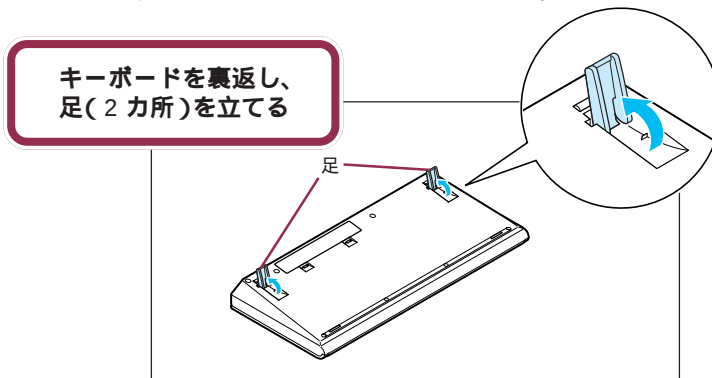
- ・マウスの電池寿命はご使用の環境や方法にもよりますが、アルカリ乾電池で最大190時間です(マウスを持ちつづけていると動作状態となることがあります)。
- ・キーボードの電池寿命はご使用の環境や方法にもよりますが、アルカリ乾電池で最大300時間です。

●乾電池を長持ちさせるための注意

- ・マウスには、操作していないと自動的に省電力モードになり、乾電池の消耗を節約する機能がついています。操作していなくてもマウスに手をおいたままだと動作状態となり、省電力モードにならないことがあります。操作しないときは、なるべく、マウスから手を離すようにしてご使用ください。
- ・マウスのボタンが押し続けられたり、マウスのボールが動き続ける状態が続くと、省電力モードにならず、乾電池が短期間で消耗します。マウスを使わないときは振動させたりしないでください。また、マウスを持ち運んだり長期保管するときは、必ず乾電池を取り出してください。
- ・キーボードのキーが押された状態が続くと、乾電池が短時間で消耗します。キーボードの上には物を置かないようにしてください。
- ・キーボードを持ち運んだり、長期保管するときは、必ず乾電池を取り出してください。

キーボードの足を立てる

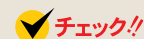
キーボードの足を立てると、角度が変わります。足を立てずに使用することもできるので、使いやすい方を選んで使用してください。



電波の影響について→PART1の「電波の影響を受ける環境で使うときの注意」(p.7)

電池切れにご注意

- ・キーボードを操作するたびに「ピー」というブザー音がするようになった場合は、乾電池が消耗しています。2本とも新しい乾電池に交換してください。完全に乾電池が消耗した場合は、ブザー音は鳴りません。
- ・マウスを操作すると、「マウスの電池が残り少なくなっています。お早目にお取替ください。」と画面に表示された場合は、乾電池が消耗しています。2本とも新しい乾電池に交換してください。完全に消耗した乾電池を入れた場合は表示されません。



足を立てるとき、カチッと音がするまで矢印の方向に立ててください。

パソコン本体の 電源ケーブルを 接続する



最後に、パソコン本体の電源ケーブルを接続します。

⚠ 注意



感電注意

濡れた手で電源ケーブルのプラグを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。



発火注意

タコ足配線にしないでください。

タコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因になります。



感電注意

電源ケーブルの上には、絶対に重いものをのせないでください。



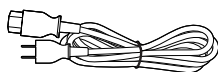
発火注意

ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因になります。



用意するもの

パソコン本体用電源ケーブルは、パソコンに添付のものをお使いください。

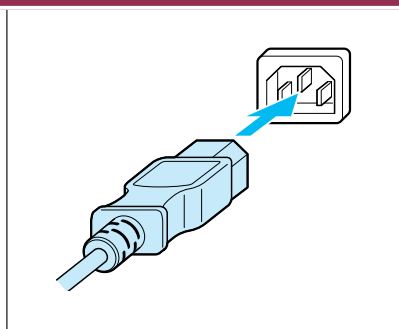


パソコン本体用電源ケーブル



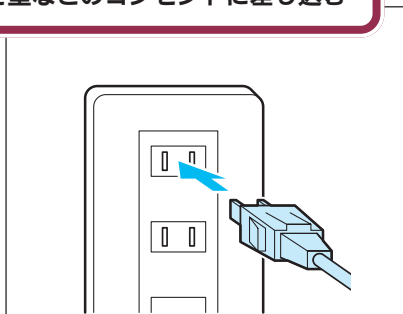
1

電源ケーブルの片方の端を、本体背面の
コネクタの奥までしっかり差し込む



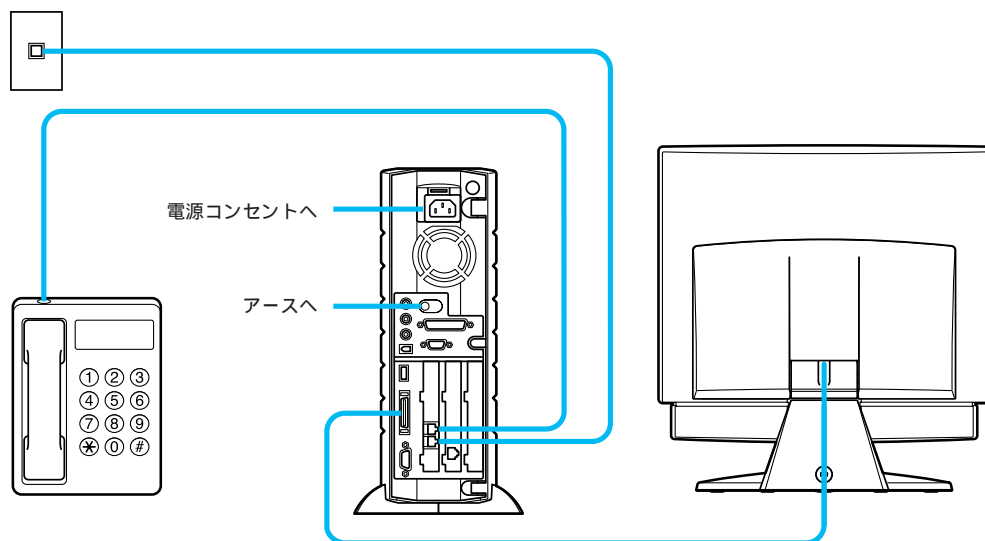
2

電源ケーブルのもう一方のプラグ
を壁などのコンセントに差し込む



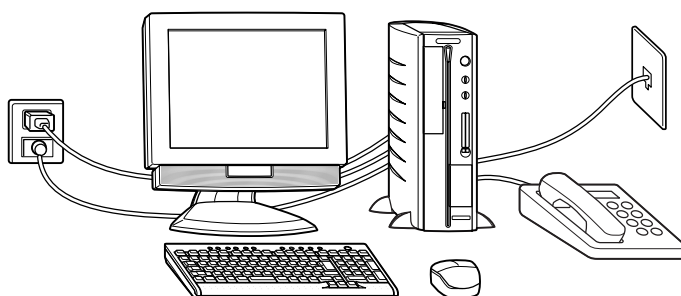
これで接続は完了です。

接続完成図(背面)



モデルにより本体背面の形状は異なります。

接続完成図(前面)



まだ、電源スイッチを押さないでください。

電源を入れる操作については、このあとの「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」で説明しています。

プリンタなど、周辺機器の接続は、あとから

プリンタや別売の周辺機器がある場合、まだ接続しないでください。このあとの「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」の操作を先に完了させる必要があります。そのあとで『もっと知りたいパソコン』をご覧ください。接続と設定を行ってください。

✓ チェック!!

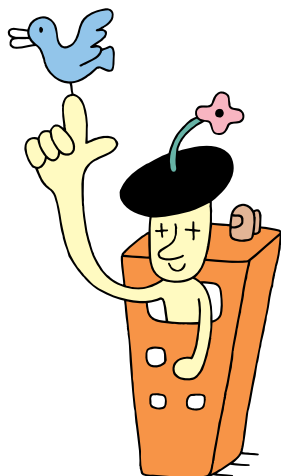
電源ケーブル、電話回線の接続に使ったモジュラーケーブルなどが、人の通る場所がないことを再確認してください。ケーブルを足に引っかけたりすると、パソコンの故障の原因になるだけでなく、思わぬけがをすることもあります。

P A R T

3

電源を入れて パソコンを使えるようにする

パソコンの接続は終わっていますね。それでは、
いよいよ電源を入れます。最初に電源を入れる
ときは、このパソコンを使えるようにするた
めのセットアップ作業が必要です。この作業が終
わらないと、パソコンは使えるようになりませ
ん。このあとの説明をよく読んで、ゆっくり確実
に操作してください。



セットアップをはじめる



セットアップをはじめてから、パソコンを使えるようになるまで、約 10 分程度かかります。

用語

セットアップ

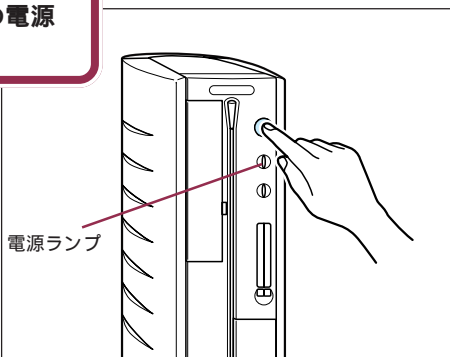
パソコンを使えるようにすることを、セットアップといいます。セットアップが終わると、インターネット、ワープロ、表計算、ゲームなど、このパソコンの様々な機能が使えるようになります。

電源を入れる

1

パソコン本体の電源スイッチを押す

パソコン本体の電源ランプが緑色に点灯する



電源ランプ

操作の途中で電源を切らない!!

p.50 までの操作がすべて終わるまでに、約 10 分かかります。p.50 の手順が完了するまでは、絶対に電源を切らないでください。もちろん、電源ケーブルをいきなり抜いたりしてはいけません。パソコンが使えるようになる前に電源を切ると、故障の原因になります。

ディスプレイの電源も自動的に入り、ディスプレイの電源ランプ (🔌) が点灯します。

✓ チェック!!

電源スイッチを押しても電源ランプが点灯しない場合、電源ケーブルの接続が不完全であることが考えられます。「パソコン本体の電源ケーブルを接続する」(p.30)をご覧ください。

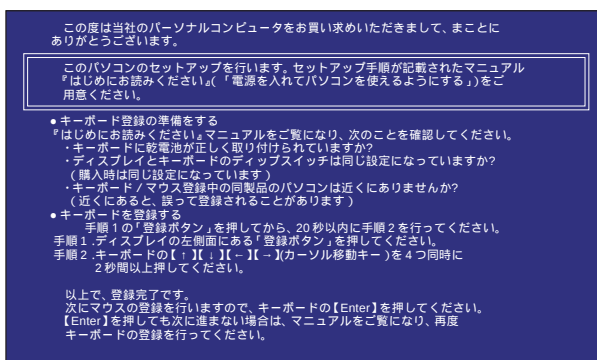
キーボードとマウスを使えるようにする

このパソコンでキーボードとマウスを使うには、キーボードとマウスの登録(ディスプレイに内蔵された受信機にキーボードとマウスを認識させる作業)が必要です。登録をする前に、まず次のことを確認してください。

- ・キーボードとマウスに乾電池が正しく取り付けられている
- ・キーボードとマウスがディスプレイから約1m以内、左右約45度以内の場所に置かれている

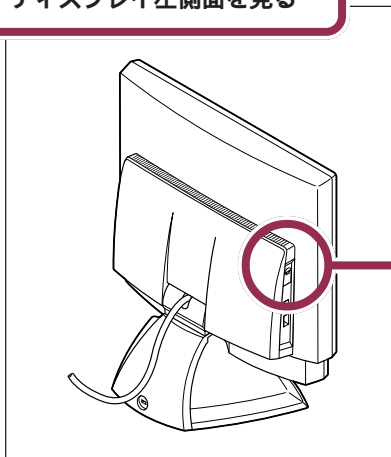
1

次の画面が表示されていることを確認する



2

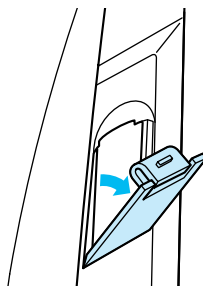
ディスプレイ左側面を見る



3

カバーを取り外す

上側のツメを外してから取り外します。



チェック!!

- ・同製品のパソコンを複数台、近くで同時に登録しないでください。正しく登録されない場合があります。
- ・ディスプレイ、キーボード、マウスのディップスイッチがすべて同じ設定になっていることを確認してください(ご購入時は同じ設定になっています)。

参考

キーボードやマウスの乾電池の取り付け方→PART2の「キーボードとマウスの準備をする」(p.27)

最初の30秒ぐらいは、パソコンが自動的に内部をチェックするので、画面の表示がいろいろ変化します。左の画面が出るまで、何もせずに待ってください。

チェック!!

- ・外したカバーは、なくさないようにしてください。
- ・カバーを外したときに、隙間から金属等の異物を入れないように注意してください。

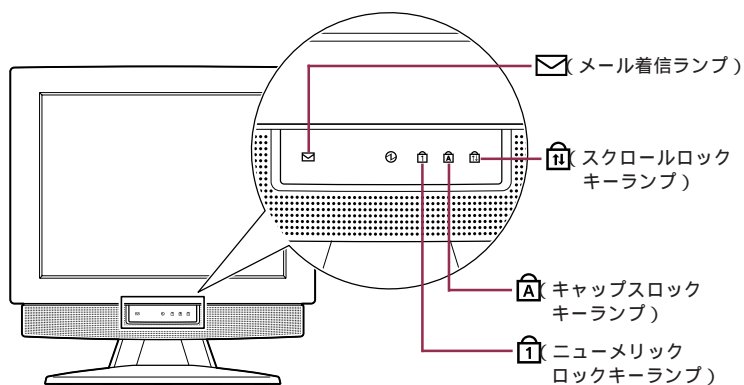
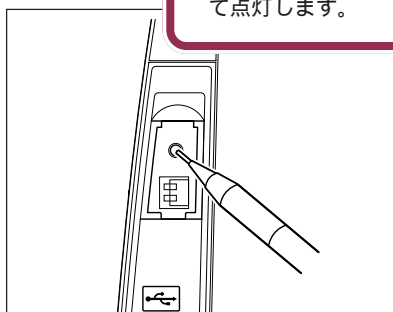
キーボードの登録をする前に

これからキーボードの登録作業を行います。キーボードの登録作業は20秒以内に完了させる必要があります。まずは手順4と手順5を一度よく読んでから、実際の登録作業を行ってください。

4

シャープペンシルの先などで「登録ボタン」を押す

登録モードになり、ディスプレイのランプ(✉ 1 A 11)がすべて点灯します。



✓ チェック!!

ランプがすべて点灯しないときは、「登録ボタン」がきちんと押されていない。「登録ボタン」を押し直してください。

5

キーボードの 、、、 の4つのキーを同時に2秒間以上押しつづける

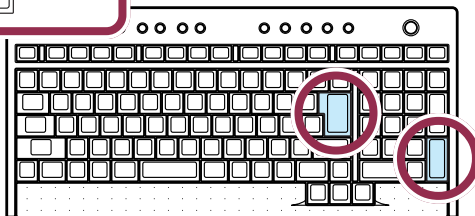
登録が完了すると、登録モードが解除され、ディスプレイのランプが元の状態に戻ります。ご購入時の状態では、   のランプが消えます。



6

キーボードの  を押す

この画面に変わる



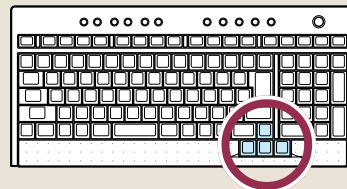
- マウス登録の準備をする
『はじめにお読みください』マニュアルをご覧になり、次のことを確認してください。
 - マウスに乾電池が正しく取り付けられていますか？
 - ディスプレイとマウスのディップスイッチは同じ設定になっていますか？
(購入時は同じ設定になっています)
 - キーボード/マウス登録中の同製品のパソコンが近くにありませんか？
(近くにがあると、誤って登録されることがあります)

- マウスを登録する
手順1の「登録ボタン」を押してから、20秒以内に手順2を行ってください。
手順1: ディスプレイの左側面にある「登録ボタン」を押してください。
手順2: マウスの「左ボタン」「右ボタン」「スクロールボタン」を3つ同時に2秒間以上押し続けてください。

以上で、登録完了です。

次にWindowsのセットアップを行いますので、マウスの「左ボタン」を押してください。

「左ボタン」を押しても次に進まない場合は、マニュアルをご覧になり、再度マウスの登録を行ってください。



 **チェック!!**

ディスプレイ前面のランプが点灯したら、20秒以内に手順5を行ってください。20秒を過ぎるとランプが消え、登録が無効になります。この場合、もう一度手順4からやり直してください。

【Enter】キーは2カ所にあります。どちらを押しても構いません。

 **チェック!!**

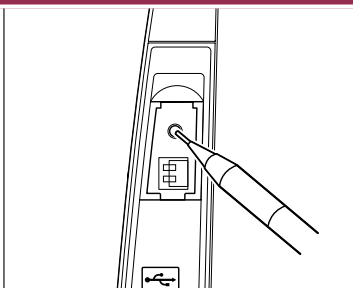
左の画面が表示されない場合は、キーボードの登録がうまくいっていません。もう一度手順4からやり直してください。

マウスの登録をする前に

これからマウスの登録作業を行います。マウスの登録作業は20秒以内に完了させる必要があります。まずは手順7と手順8を一度よく読んでから、実際の登録作業を行ってください。

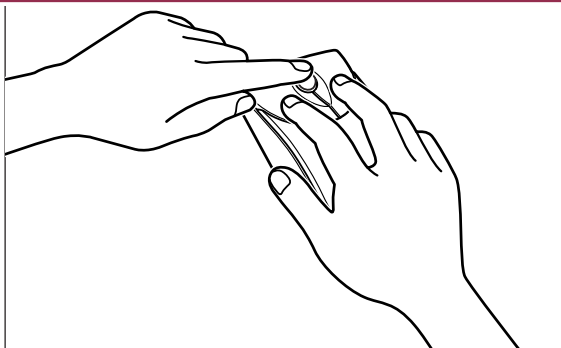
7

ディスプレイ左側面の「登録ボタン」を押す
登録モードになり、ディスプレイのランプ(☑
① ② ③)がすべて点灯します。



8

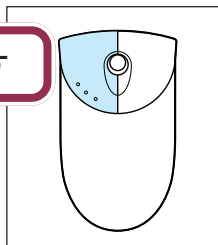
マウスの左ボタン、右ボタン、真ん中のボタン(スクロールボタン)の3つのボタンを同時に2秒間以上押しつづける
登録が完了すると、登録モードが解除され、ディスプレイのランプが元の状態に戻ります。ご購入時の状態では、☑ ② ③ のランプが消えます。



9

マウスの左ボタンを押す

この画面に変わる

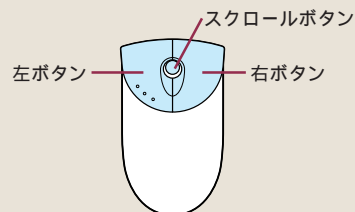


✓ チェック!!

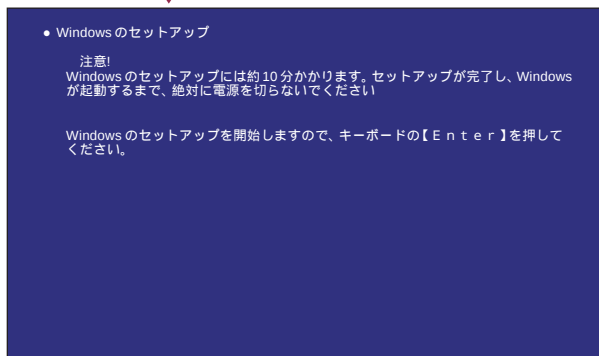
ランプがすべて点灯しないときは、「登録ボタン」がきちんと押されています。「登録ボタン」を押し直してください。

✓ チェック!!

ディスプレイ前面のランプが点灯したら、20秒以内に手順8を行ってください。20秒を過ぎるとランプが消え、登録が無効になります。この場合、もう一度手順7からやり直してください。



この画面に変わる

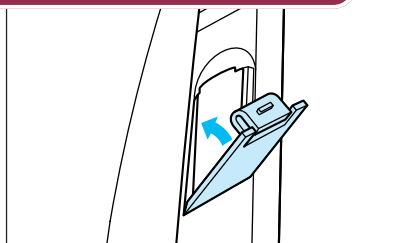


10

キーボードの  を押す

11

ディスプレイ左側面のカバーを取り付ける



これで、キーボードとマウスが使えるようになりました。

登録がうまくいかないときは

次のことを確認してください。

- ・キーボードとマウスに乾電池が正しく取り付けられているか？
- ・キーボードとマウスがディスプレイから約1m以内、左右約45度以内の場所に置かれているか？
(周囲の環境により、周辺から電波の影響を受けて、うまく動作しないことがあります。なるべくディスプレイに近づけて使用してください。)
- ・ディスプレイのランプが点灯してから20秒以内に登録の操作をしたか？
- ・ディスプレイ、キーボード、マウスのディップスイッチの設定は、すべて同じに設定になっているか？
ご購入時の状態ではすべて同じ設定になっていますが、どうしても登録がうまくいかない場合は、ディップスイッチの設定を確認してください。

✓ チェック!!

左の画面が表示されない場合は、マウスの登録がうまくいっていません。もう一度手順7からやり直してください。

📖 参照

キーボードやマウスの乾電池の取り付け方 → PART2 の「キーボードとマウスの準備をする」(p.27)

📖 参照

ディップスイッチの設定 → 『困ったときのQ&A』PART2 の「マウス、キーボード」の「マウス、キーボードが正しく動作しない(ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボードの場合)」

セットアップをはじめる

1

次の画面が表示されていることを確認する



パソコンの操作はあわてずに！

パソコンを使っているときに、次の画面に切り替わるまで、少し時間がかかることがよくあります。これは、パソコンの内部で設定などの準備処理が行われているためです。「しばらくお待ちください」といったメッセージや⌚が出ているときは、キーを押したり、マウスのボタンを何度も押ししたりしないようにしてください。



ポイント

「しばらくお待ちください」といったメッセージや⌚ (砂時計) が表示されているときは、パソコンが内部で処理を行っている。これらが表示されている間は、何も操作せずに待つ。

キーボードとマウスは、ディスプレイから約1m以内、左右約45度以内の場所で使う

キーボードとマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。信号の受信機は、ディスプレイに内蔵されています。周囲の環境により、周辺からの電波の影響でうまく動作しないことがありますので、なるべくディスプレイに近づけて使用してください。

✓ チェック!!

停電やコンセントが抜けたなどの理由で電源が切れてしまった場合は、『困ったときのQ&A』PART2の「はじめて電源を入れたら」や「電源を入れたが/切ろうとしたが」をご覧ください。

マウスを動かしてみる

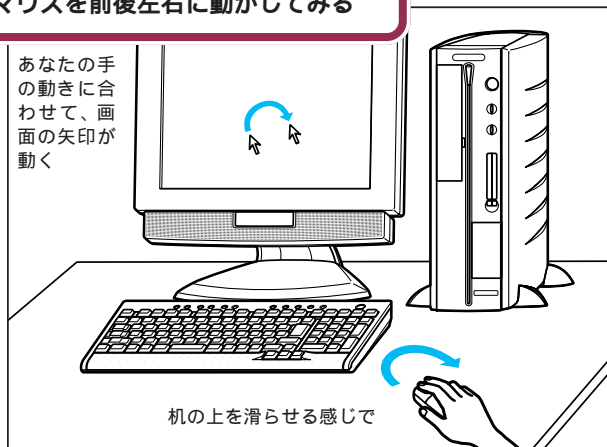
1

右手でマウスを持つ



2

マウスを前後左右に動かしてみる

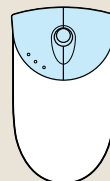


ポイント

マウスは軽く持って、机の上を滑らすように動かす。
マウスの動きに応じて、画面の矢印が動く。

✓チェック!!

次ページまでは、マウスの上にある3つのボタンを押さないでください。



マウスを動かすために、マウスの前後左右に10cm位のスペースをあけておいてください。

マウスは、親指と薬指で軽くつかんで机の上を滑らせるように動かします。肩の力を抜いて、手首だけで動かすようにすることがコツです。

マウスの練習は、「パソコンのいろは」(p.71)でできます。ここではマウスの動きに合わせて矢印が動くことがわかれば十分です。

「次へ」をクリックする

1 「次へ」にマウスカursor (矢印) を合わせて、

↓ 「次へ」の色が変わる

2 マウスの左ボタンを 1 回押す

↓ マウスの左ボタンを押すと、画面が変わる

「次へ」ボタンをクリックしてください

先に進むには、「次へ」ボタンをクリックしてください。

Microsoft Windows Millennium Edition インストール コンピュータをインストールしたときからご利用いただけます。

Windows をご使用いただくために、これからいくつかの手順を表示します。キーボードの Enter キーを押すか、画面の右下にある「次へ」ボタンをクリックしてください。

本機に添付のマニュアルははじめにお読みください。また、ご用意ください。

「電源を入れて」のコンをインストールする前に起動されている手順に従ってセットアップを進めてください。

Microsoft Windows Millennium Edition

日本語版

使用許諾契約書

本機に添付のマニュアルははじめにお読みください。また、ご用意ください。

「電源を入れて」のコンをインストールする前に起動されている手順に従ってセットアップを進めてください。

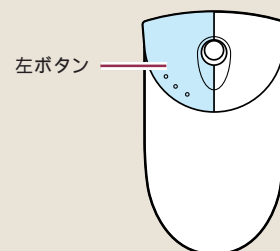
先に進むには、「次へ」ボタンをクリックしてください。

戻る (B) 次へ (N)

用語

クリック

画面の文字や絵などに矢印を合わせ、マウスの左ボタンを 1 回押す操作を「クリック」といいます。「クリック」は、マウスを使うときの最も基本的な操作方法なので、このあとの手順でも同じ操作が何度も出てきます。しっかりマスターしてください。



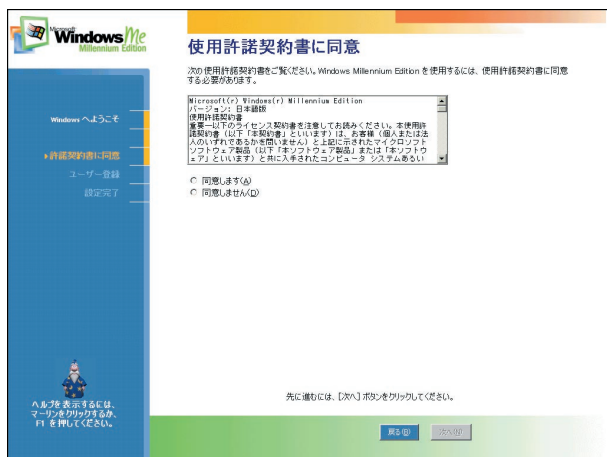
画面左下のマーリンは Windows のセットアップ方法などを説明してくれるキャラクターです。セットアップの途中でわからないことがあったら、ここをクリックして説明を見ることができます。

間違ってもメニューを表示させてしまったら、「メニューを閉じる」をクリックして、メニューを消してください。

使用許諾契約に同意する

1

次の画面が表示されていることを確認する



使用許諾契約とは？

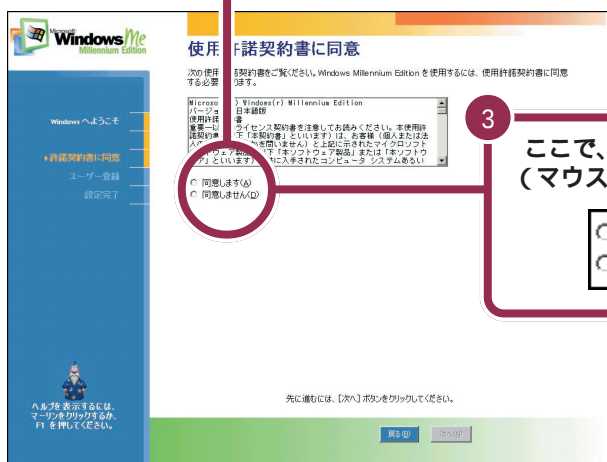
このパソコンを使えるようにするには、パソコンに入っているソフトウェアを違法にコピーして他人に渡したりしないという契約に同意しなければなりません。同意していただけない場合は、このパソコンを使うことができません。

契約書の文章が表示された欄の右に  があります。この  の上に矢印を合わせてクリックすると、続きを読むことができます。このように、画面に内容の一部だけが表示されている場合に、表示する部分を移動させることを「スクロール」と呼びます。

2

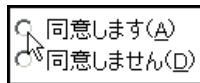
「同意します」の左にある  にマウスカーソル(矢印)を合わせる

 の内側に矢印の先端が来るように

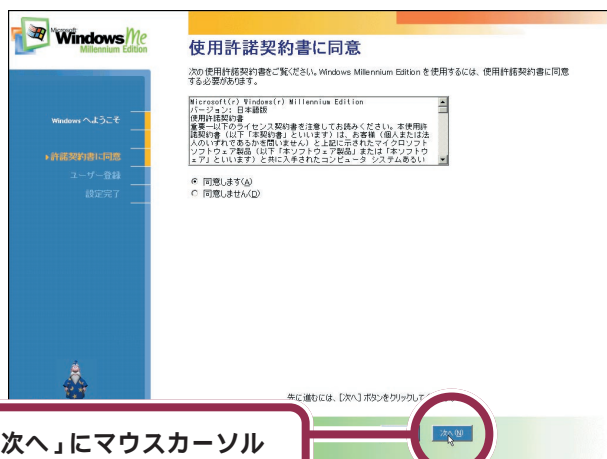


3

ここで、クリックする
(マウスの左ボタンを1回押す)

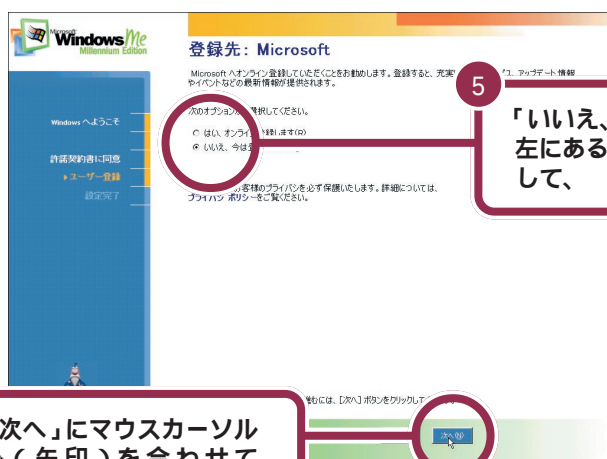


☐ 同意します(A) が ☒ 同意します(A) になる



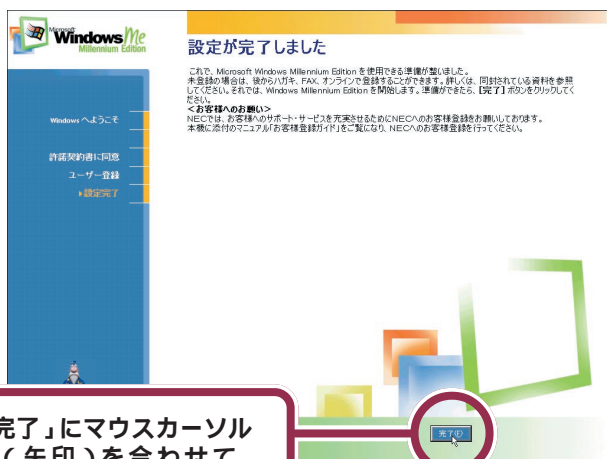
4 「次へ」にマウスカーソル（矢印）を合わせてクリックする

画面が変わる



6 「次へ」にマウスカーソル（矢印）を合わせてクリックする

5 「いいえ、今は登録しません」の左にある  をクリックして  にして、



7

「完了」にマウスカーソル
(矢印)を合わせて、
クリックする

8

次の画面が出るまで待つ

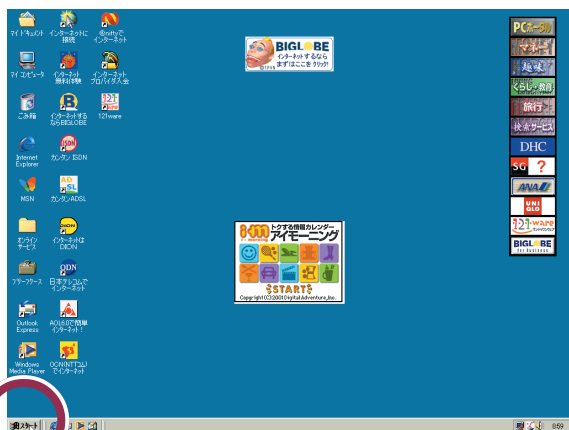
「完了」をクリックすると、その後何度か画面が変わりますが、何も操作せずに待ってください。自動的に再起動され、次ページの画面が出ます。

**まだセットアップは完了していません。
続けて、次ページへ進んでください。**

このパソコンの機能を使えるようにする

パソコンを使えるようにするための、最後の手順です。

このパソコンの機能をすべて使えるようにするため、必ずこの操作を行ってください。



1

「スタート」をクリックする
(マウスの左ボタンを1回押す)

上の画面が表示されたあとは、このマニュアルで説明された部分以外、クリックしないように注意してください。間違えて別の場所をクリックしてしまい、このマニュアルに載っていない画面が表示された場合、次のいずれかの操作を行って、表示された画面を消してください。

1. キーボードの左上にある【Esc】を押してみる。
2. 「キャンセル」または「いいえ」と書かれたボタンが画面上にあったらマウスでクリックする。
3. 画面の右上に  がある場合、そのボタンをマウスでクリックする。

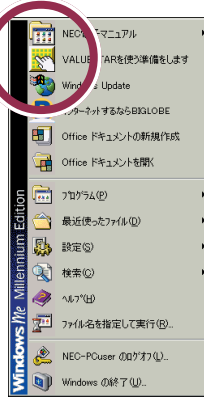
✓ チェック!!

この操作を行わないと日本語入力できません。必ずこの操作を行ってください。

お使いの機種により、一部の表示が異なることがあります。

2

「VALUESTAR を使う準備をします」に矢印を合わせる

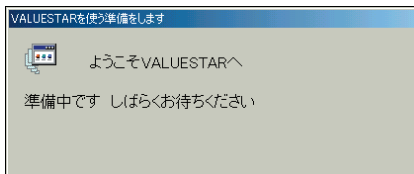


3

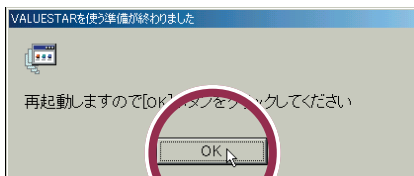
文字の背景が灰色から濃いブルーに変わったところで、クリックする



この画面が出る



この画面が出る



4

「OK」をクリックする

「VALUESTAR を使う準備をします」が表示される位置は、お使いの機種によって異なることがあります。



1～2分後に、この画面が出る



この画面が表示されれば、正しくセットアップが行われています。

5

パソコンの「日付と時刻」の設定が正しいかを確認する



時刻は、画面の右下に表示されます。

日付と時刻が正しくない場合は、設定し直してください。

画面右下のここに(矢印)を持ってくると日付が表示されます。

これでセットアップの作業は完了です。

次回から、パソコンの電源を入れると、1～2分後には、いつもこの画面が表示されるようになります。この画面全体をデスクトップといいます。デスクトップにはいろいろなものが表示されていますがパソコンに慣れていない人は、まだ画面をクリックしたりしないで、まずは、どんな物があるか見てみましょう。

参考

デスクトップ→PART4の「デスクトップってなに？」(p.66)

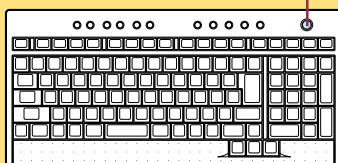
参考

日付と時刻の設定方法→『困ったときのQ&A』PART2の「その他」の「日付と時刻を設定したい」

20分以上放置すると、電源が切れる

キーボードのキーに何も触れなかったり、マウスを動かさなかったりする状態が20分以上続くと、自動的に画面が真っ暗になります(休止状態)。これは無駄な電力を使わないように、省電力機能(休止状態)が働くためです。この場合、キーボードまたは本体の電源スイッチを押すと元に戻ります。

電源スイッチ



必要に応じて、パソコンを守る設定を行う

このパソコンには、プログラムやデータを守るためのソフトが入っています。VirusScanは、パソコンがコンピュータウイルス(パソコンの動作に悪影響のある不正なプログラム)に感染することを防ぐソフトです。必要に応じて、このソフトの設定を行ってください。

大切なデータは、バックアップをとる

自分が作ったデータは、一度消えてしまうと元に戻すことができません。万一のアクシデントに備えて、自分が作った大事なデータは、必ずバックアップをとるように心がけてください。

参照

省電力機能 → 「添付ソフトの使い方」-「省電力機能の設定」、『もっと知りたいパソコン』PART12の「省電力機能」

参照

VirusScan → 「添付ソフトの使い方」-「VirusScan」

用語

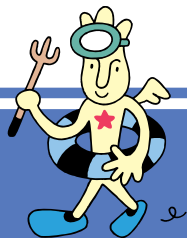
バックアップ

万一、データが消えてしまっても元に戻せるように、他のドライブやメディア(CD-R/RWなど)にデータを複製しておくこと。

参照

バックアップ → 『使っておぼえるパソコンの基本』前編 PART6の「大切なデータの保管方法」、『困ったときのQ&A』PART1の「データとインターネット設定のバックアップ」

お客様登録 を行う



パソコンが使えるようになったら、まずは「お客様登録」をおすすめします。

お客様登録をしていただくと、NEC のパソコン関連総合サイト「121ware.com(<http://121ware.com>)」にて、登録した商品に関するバージョンアップ情報やサービス、お買い得情報などお客様一人一人にあわせた最新情報をご覧になれます。

お客様登録には、次の3つの方法があります。

1. インターネットで登録する

NEC のパソコン関連総合サイト「121ware.com(<http://121ware.com>)」にアクセスする
「お客様登録」または「マイアカウント」をクリック
「マイアカウントメニュー」が表示されます。
「保有商品情報」の「新規・追加登録」をクリック
121 コミュニケーション ID とパスワードを取得する
すでに取得済みの場合は ID とパスワードを入力してください。

この後は画面の案内にしたがって購入された商品を登録してください。

2. オンラインで登録する(NEC オンラインお客様登録)



電話回線を通じて登録します。登録は、フリーダイヤルで行われますので、電話料金はかかりません。登録方法は、添付の『お客様登録ガイド』をご覧ください。

3. ハガキまたはFAX で登録する

添付の『お客様登録申込書』に必要事項を記入し、121ware登録センターへ送ってください。詳しくは、『お客様登録申込書』をご覧ください。

これで、パソコンの準備はOK！

一息入れたら次のページに進んで、正しい電源の入れ方と切り方を覚えておきましょう。

✓ チェック!!

- ・ 121ware は、キーボードの【121ware】ボタンを押して見るができます。
- ・ パソコンにはじめて触れる方や文字入力に自信のない方は、このパソコンに入っている学習ソフト「パソコンのいろは」(p.71)で文字入力を練習してから、登録することをおすすめします。
- ・ 「NEC オンラインお客様登録」または「お客様登録申込書」でご登録された場合、登録後に郵送または電子メールにて登録完了のお知らせをお送りします。

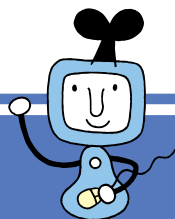
📖 参照

- ・ 「121ware.com」について→『121ware ガイドブック』
- ・ インターネットに接続する方法→『使っておぼえるパソコンの基本』

✓ チェック!!

「NEC オンラインお客様登録」以外の方法でユーザ登録をした場合は、「NEC オンラインお客様登録」のアイコンを消すことができます。アイコンを消す方法は、添付の『お客様登録ガイド』をご覧ください。

電源の入れ方と切り方



正しい電源の入れ方と切り方を、覚えておきましょう。
大切なデータやパソコンを守るために、正しい手順で操作してください。

電源を入れる

1

スピーカや、他の機器を接続している場合は、それらの電源を入れる

2

キーボードの電源スイッチを押して
パソコン本体の電源を入れる

ディスプレイの電源も
自動的に入る



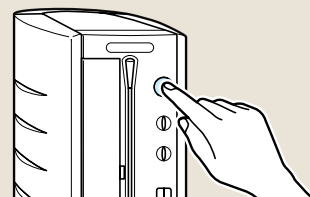
1 ~ 2 分後に次の画面が表示される



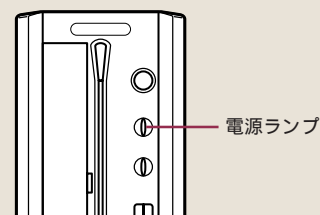
参照

電源スイッチを押しても電源が入らないとき → 『困ったときの Q & A』
PART2 の「電源を入れたが / 切ろうとしたが」

パソコン本体の電源スイッチを押して電源を入れることもできます。



パソコン本体の電源が入っているときには、電源ランプが緑色に点灯します。ディスプレイの電源ランプも点灯します。



電源を切る

パソコンの内部には突然電源を切ってしまうと具合が悪い部品も入っています。次の手順にしたがって電源を切ると、これらの部品の動作終了を自動的にチェックして、安全に電源を切ることができます。

1

画面左下にある「スタート」をクリックする



スタートメニューが表示される

2

「Windows の終了」をクリックする



チェック!

電源を切る前にデータを保存し、アプリケーションを終了しておいてください。

電源を切るときは、電源スイッチを押さずに、ここで説明する手順で操作することをおすすめします。電源スイッチを押して終了させることもできますが、その際は電源スイッチを4秒以上押し続けなくてください。4秒以上押し続けると強制的に電源が切れてパソコンに負担がかかります。

用語

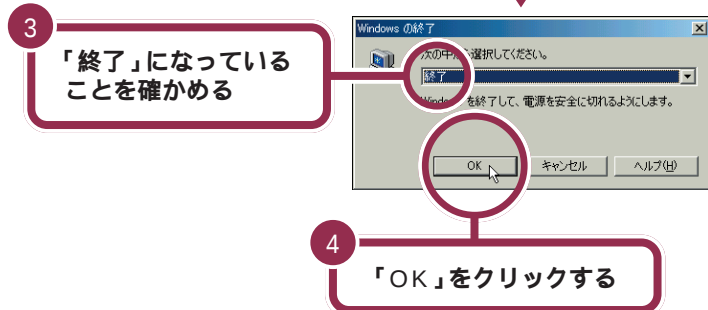
スタートメニュー

画面左下にある「スタート」(「スタート」ボタンと呼びます)に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを1回押すと、スタートメニューが表示されます。スタートメニューから「Windowsの終了」を選ぶと、パソコンの電源を切ることができます。また、ソフトウェアを利用したり、いろいろな設定を行ったりするときにも利用できます。

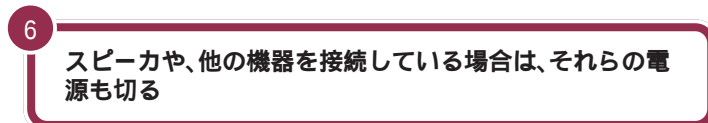
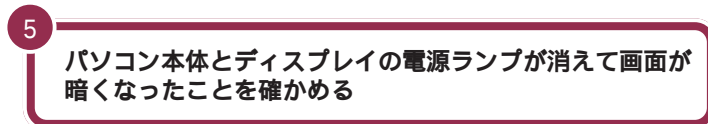
チェック!

矢印がスタートメニューの中を上下すると、青い帯が矢印の位置に移動します。「Windowsの終了」に青い帯がかかるように、マウスを動かしてください。

画面中央に、これが表示される



自動的にパソコン本体とディスプレイの電源が切れます。パソコン本体とディスプレイの電源ランプも消えます。

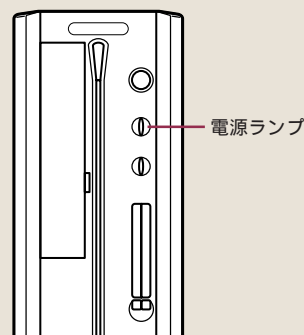


電源が切れなくなってしまったときは

「電源を切る」(p.54)の手順で電源が切れなくなってしまった場合は、パソコン本体の電源スイッチを約4秒以上押しつづけると、強制的に電源を切ることができます。強制的に電源を切った後に、5秒以上待ってからもう一度電源スイッチを押してパソコンの電源を入れ、「電源を切る」(p.54)の手順で正しく電源を切り直してください。

✓ チェック!!

「終了」になっていないときは、▼をクリックして表示されるメニューの中から「終了」をクリックしてください。



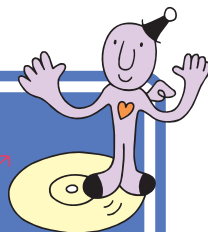
✓ チェック!!

この方法で電源を切ると、パソコンに負担がかかります。パソコンが起動しなくなる可能性もあります。どうしても電源が切れない場合以外は、この操作は行わないでください。電源を入れ直したときに、「スキャンディスク」の画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって操作してください。

📖 参照

強制的に電源を切る → 『困ったときのQ&A』PART2の「電源を入れたが / 切ろうとしたが」

CD-ROM などの 扱い方



このパソコンの CD-R/RW with DVD-ROM ドライブ (または CD-R/RW ドライブ) で使えるディスクの種類や取り扱い上の注意、CD-ROM のセットのしかたを説明します。

このパソコンの CD-R/RW with DVD-ROM ドライブで使えるディスク

このパソコンでは、次のようなディスクを使えます。

種類	概要
CD-ROM	パソコンで見るための情報が入った CD。本機で使えるのは「Windows 95 」、「Windows 98 」または「Windows Me 」対応の CD-ROM で、「Windows 2000 専用 」、「Macintosh 専用 」のものは使えません。
CD-R/ CD-RW	データ書き込みが可能な CD。CD-R/RW モデルまたは CD-R/RW with DVD-ROM モデルで書き込みもできます。
音楽 CD	一般の音楽 CD のことです。
ビデオ CD/ カラオケ CD	音声と動画が記録された CD です。
フォト CD	写真を記録した CD です。
DVD-ROM	CD-ROM の約 8 倍の量のデータを記録できるディスクです。百科事典や地図が記録されているものなどがあります。CD-R/RW with DVD-ROM モデルの場合のみ使えます。
DVD-Video	映画やドキュメンタリーが高画質、高音質で記録されている DVD です。CD-R/RW with DVD-ROM モデルの場合のみ使えます。

Windows 95/98 対応のほとんどの CD-ROM は Windows Me で使うことができます。まれに使うことのできない CD-ROM もあるので購入前に確認してください。

Windows 2000 専用の CD-ROM は、Windows Me では使用できません。

Macintosh でも Windows でも使えるように作られた「ハイブリッド CD」という CD もあります。

CD-TEXT 対応の音楽 CD は、通常の音楽 CD として再生することができます。また、Jet-Audio Player の設定を変更すると、CD-TEXT 対応の音楽 CD のテキストデータ部分を読み出すことができるようになります。詳しくは、Jet-Audio Player のオンラインマニュアルをご覧ください。

CD-ROM、DVD-ROM、CD-R/RW の取り扱い上の注意

- ・ケースから出すときは、ケースの中央部分を押しながら取り出します。
- ・信号面(文字などが印刷されていない面)に手を触れないでください。
- ・表面にラベルを貼ったり、文字を書いたり、傷を付けたりしないでください。
- ・上に重いものを載せたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- ・汚れたときは、やわらかい布で内側から外側に向けて拭いてください。
- ・清掃の際は CD 専用のスプレーをお使いください。
- ・ベンジン、シンナーなどで拭かないようにしてください。
- ・ゴミやホコリの多い場所での使用は避けてください。
- ・直射日光のあたる場所や、温度の高い場所に保管しないでください。

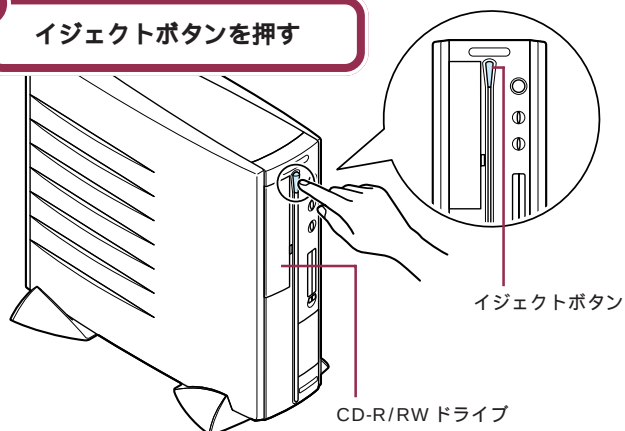
使用後は、収納ケースに入れるようにしてください。

CD-ROM の入れ方と出し方

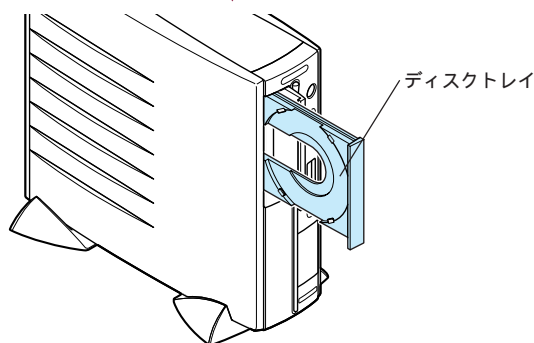
● CD-ROMを入れる方法

1

イジェクトボタンを押す

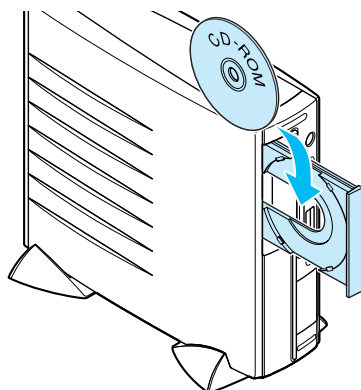


↓ カバーが開いてディスクトレイが出てくる



2

CD-ROMのラベル面(文字などが印刷されている面)を左にしてディスクトレイの下にあるツメにひっかかのように収める



CD-R/RW with DVD-ROMモデルには、CD-R/RW with DVD-ROMドライブが搭載されています。DVD-ROM、CD-R/RWも基本的な取り扱い方はCD-ROMと同じです。

✓ **チェック!!**

- ・ ディスクトレイの出し入れは、本体の電源が入っているときにしかできません。
- ・ CD-R/RW ドライブのカバーは、イジェクトボタンを押すと、自動的に開くようになっています。カバーを無理に開こうとすると、カバーが壊れることがあります。

📖 参照

イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合→『困ったときのQ&A』PART2の「その他」

✓ **チェック!!**

- ・ CD-ROMが落ちないように確実にツメにひっかけてください。ツメには、A、B、C、Dの4タイプがあります。次ページを見て、あなたのパソコンのツメのタイプを確認してください。
- ・ パソコン本体を縦置きにするとCDシングル(直径8cmのCD)は使えません。また故障の原因になりますので市販のCDシングル用アダプタは使わないでください。CDシングルを再生したいときは、スタビライザを外した後、本体にゴム足を取り付けて、横置きで使用してください。

📖 参照

スタビライザの外し方→『もっと知りたいパソコン』PART2の「本体の開け方と閉め方」

ゴム足の取り付け方→PART2の「パソコン本体にスタビライザを取り付ける(p.16)」

CD-ROMをセットするときは、CD-ROMが落ちないように確実にツメにひっかけてください。ツメには、A、B、C、Dの4タイプがあります。あなたのパソコンのツメのタイプを確認してください。

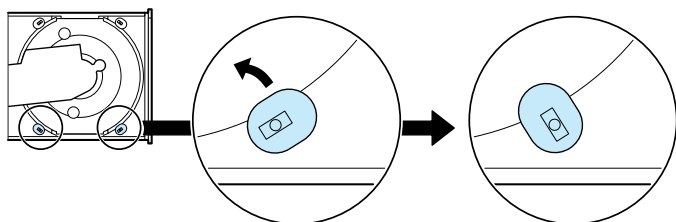
●各モデルのタイプ

- ・ CD-R/RW with DVD-ROM モデルの場合
AタイプかCタイプです。
- ・ CD-R/RW モデルの場合
BタイプかCタイプかDタイプです。

●ツメのタイプ

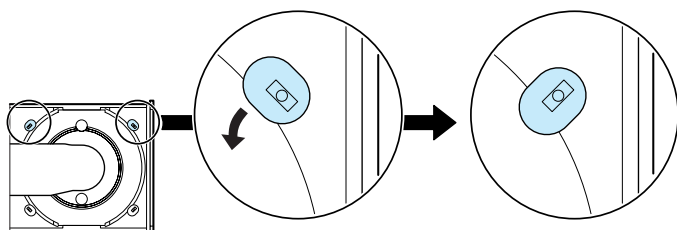
・Aタイプ

下側の2つのツメを出します

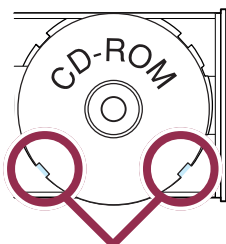


・Bタイプ

上側の2つのツメを出します

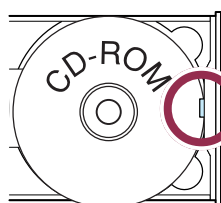


・Cタイプ



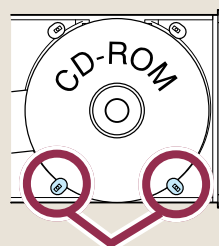
ここのツメで押さえる

・Dタイプ

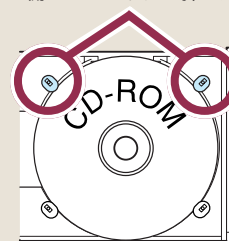


ここのツメで押さえる

特に、AタイプとBタイプは形状が似ていますが、間違えないように注意してください。自分のパソコンのモデルが分からないときは、p.12で本体左側面の型名(型番)を確認し、p.iiiの表と照合して該当するモデルを確認してください。



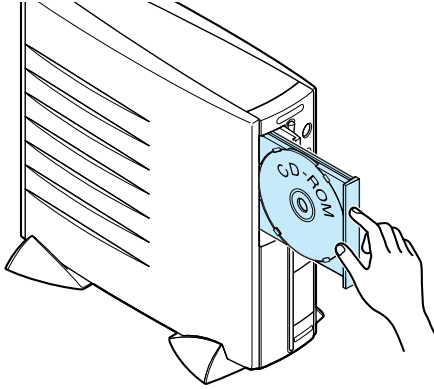
下側の2つのツメで押さえる



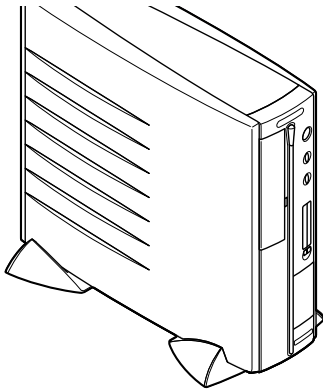
上側の2つのツメで押さえる

3

ディスクトレイを軽く押す



ディスクトレイが収納されて
カバーも閉じる



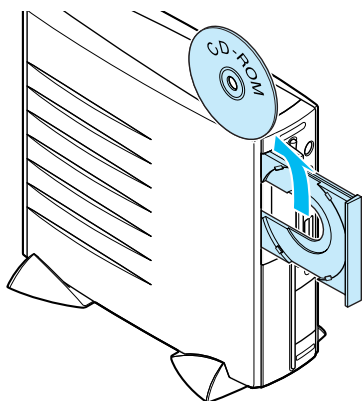
● CD-ROMを取り出す方法

1

イジェクトボタンを押す

2

ディスクトレイから CD-ROM を取り出す



3

ディスクトレイを軽く押す

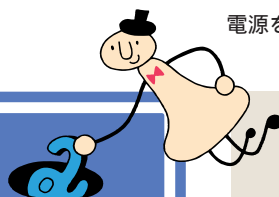
ディスクトレイが収納されてカバーも閉じる

✓ チェック!!

- ・ ディスクトレイから取り出すときに、CD-ROM を落としたり、キズつけたりしないように注意してください。
- ・ CD-ROM を取り出した後、ディスクトレイのツメを元に戻す必要はありません。

📖 参照

イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合→『困ったときのQ&A』PART2の「その他」



一時的に作業を中断する(省電力機能)

休憩や来客などで一時的に席を離れる場合、作業を中断して画面を消しておくことができます。こうしておくと、次に席に戻ったときに、すぐに中断前の状態に戻すことができます。



省電力機能→『もっと知りたいパソコン』PART12の「省電力機能」

休止状態とスタンバイ状態

省電力機能には休止状態とスタンバイ状態があります。どちらも一時的にパソコンでの作業を中断するときに使うものですが、休止状態とスタンバイ状態には違いがあります。

● 休止状態

作業中のデータをハードディスクに保存して、Windowsを終了せずにパソコンの電源を切ります。消費電力は、Windowsを終了してパソコンの電源を切ったときとほとんど同じです。普通に電源を切るのとは異なり、Windowsを終了せずに電源を切るため、休止状態から元の状態に戻すときにWindowsが起動する時間は省かれます。ただしスタンバイ状態から元の状態に戻すよりも時間がかかります。

購入時には、マウスやキーボードを操作しなかったり、ハードディスクなどへのアクセスがない状態が20分以上続くと、自動的に「休止状態」になるように設定されています。

● スタンバイ状態

パソコンの電源を入れたまま、ディスプレイへの表示を消す、ハードディスクの電源を切るなどして消費電力を抑えた状態です。パソコンの電源は完全に切れているわけではないので作業を再開するときはすぐに復帰する(スタンバイ状態にする前の状態へ戻す)ことができます。

	休止状態	スタンバイ状態
電力	スタンバイ状態に比べ消費しない	わずかに消費する
復帰までの時間()	約30秒	約20秒
こんなときに便利	長時間作業を中断するとき	すこしの間作業を中断するとき

復帰までの時間は、使用環境により異なるため、おおよその目安にしてください。



用語

休止状態

パソコンで作業中のデータを一時的にハードディスクへ保存して電源を切る機能です。次に電源を入れると、データが復元されもとの状態に戻すことができます。

休止状態のことを「ハイバネーション」と呼ぶこともありますが、同じ意味です。



用語

スタンバイ

パソコン画面の表示を一時的に中断したり、パソコン本体の消費電力を抑える機能です。

「スタンバイ」のことを「サスペンド」と呼ぶこともありますが、同じ意味です。

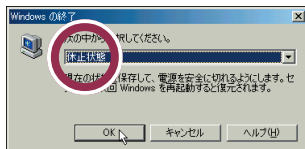
パソコンを休止状態にする

● 自動的に休止状態になる

購入時の設定ではキーボードのキーに何も触れなかったり、マウスを動かさなかったりする状態が20分以上続くと休止状態になります。

● 「Windows の終了」の画面から休止状態にする

購入時の状態では「Windows の終了」の画面で、▼をクリックして、メニューから「休止状態」を選んで「OK」をクリックすると、パソコンの電源が切れて休止状態になります。



✓ チェック!!

- ・ SCSI インターフェイスを使って機器を接続した場合は、パソコンを休止状態にできません。SCSI機器をご利用になる場合は、パソコンが自動的に休止状態にならないように設定を変更してください。
- ・ 休止状態に対応していないアプリケーションや周辺機器を使用すると、休止状態にできなかったり復帰できなかったり、正常に動作しない場合があります。この場合は、自動的に休止状態にならないように設定を変更してください。
- ・ プリンタの使用、インターネットに接続中、CD-ROMの読み込み中などに休止状態にすると、正しく復帰できないことがあります。

休止状態から復帰する

休止状態から復帰するにはキーボード、または本体の電源スイッチを押してください。

しばらくすると、休止状態にする前の画面に戻ります。

📖 参照

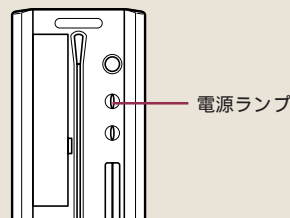
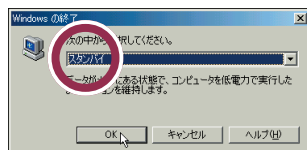
休止状態について →  「添付ソフトの使い方」- 「省電力機能の設定」、『もっと知りたいパソコン』PART12の「省電力機能」

パソコンをスタンバイ状態にする

パソコンがスタンバイ状態になると、画面が暗くなり、パソコン本体の電源ランプがオレンジ色に点灯します。スタンバイ状態では、消費電力が低く抑えられます。

・「Windows の終了」の画面からスタンバイ状態にする

「Windows の終了」の画面で、▼をクリックしてメニューから「スタンバイ」を選んで「OK」をクリックすると、自動的に画面が暗くなり、パソコンがスタンバイ状態になります。



✓ チェック!

- ・ スタンバイに対応していないアプリケーションや周辺機器を使用すると、スタンバイ状態にできなかったり、正常に動作しない場合があります。この場合は、スタンバイ状態にしないでください。
- ・ プリンタの使用、インターネットに接続中、CD-ROM の読み込み中などにスタンバイ状態にすると、正しく復帰できないことがあります。

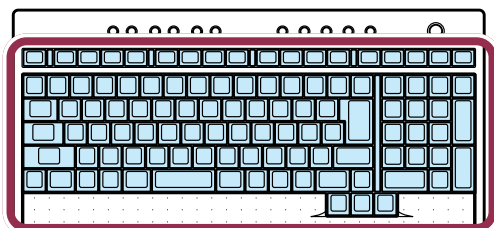
スタンバイ状態から復帰する

スタンバイ状態から復帰するには次の操作を行ってください。

しばらくすると、スタンバイ状態にする前の画面に戻ります。

- ・ キーボードのいずれかのキーを押すか、マウスを操作します。それでも画面が表示されない場合は、もう一度同じ操作をしてください。

電源スイッチ、ワンタッチスタートボタン、CD/DVD プレーヤボタン、ボリュームボタンを除く



この中のどれかのキーを押す

📖 参照

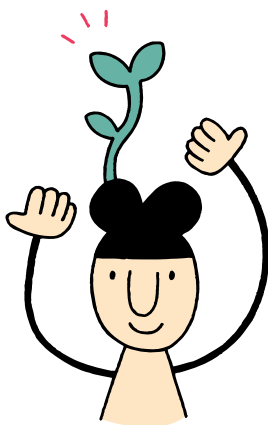
スタンバイ状態について → 「添付ソフトの使い方」-「省電力機能の設定」
『もっと知りたいパソコン』PART 12 の「省電力機能」

P A R T

4

パソコンを使いはじめよう

いよいよ本格的にパソコンを使いはじめます。
このパソコンには、はじめての人でも簡単にパソコンの基本操作を練習したり、インターネットを無料体験できるソフトが入っています。



デスクトップってなに？

このパソコンの画面全体をデスクトップといいます。このデスクトップが、パソコンを使うための舞台になります。Windows Meは、いろいろなソフトを動かすためのベースになるソフトですが、この「デスクトップ」がWindows Meの顔なのです。



「マイドキュメント」
アプリケーションを使って自分が作ったファイルを保存できます。

「マイコンピュータ」
マイコンピュータはあなたのパソコンです。「ハードディスク」や「CD-ROM」の中身を見ることができます。

「ごみ箱」
いらないファイルやフォルダは、このごみ箱に捨てます。

「スタート」
「スタート」をクリックすると、スタートメニューが表示されます。ここから、アプリケーションを起動したり、いろいろな設定をしたり、ファイルを探したり、Windows Meを終了したりすることができます。

クイック起動ツールバー

アイコンをクリックすると、アプリケーションが起動します。インターネットに接続していないと使えません。

アイコン

アプリケーションなど、よく使うファイルが、小さい絵（アイコン）で表示されます。アイコンをダブルクリックすると、アプリケーションを起動したり、ファイルを開くことができます。

タスクバー

デスクトップのいちばん下には、タスクバーが表示されています。起動しているアプリケーションや、開いているウィンドウなどがボタンで表示されます。

「BIGLOBE」

BIGLOBEの入会手続きやインターネットを利用する環境設定などを行うことができます。

「NECオンラインお客様登録」
ここをクリックしてお客様登録を行うことができます。登録後は、このアイコンは消えます。詳しくは『お客様登録ガイド』をご覧ください。

アクティブメニュー NX

デスクトレイとショットメニューに分かれています。

上側のデスクトレイには、電話回線の接続状態や、電子メールの着信をひとめで確認できるアイコンがあります。

下側のショットメニューは、項目をクリックするだけでアプリケーションを簡単に起動したり、写真などの画像ファイルや作成した文書を一覧表示したりできます。

詳しくは、次のページをご覧ください。

PC ポータル

インターネット上のさまざまな情報への入り口です。

クリックするだけで、4つのジャンル別メニューと、各企業のご紹介情報コーナーへアクセスできます。

また、「検索サービス」をクリックしてホームページの検索もできます。詳しくは、「添付ソフトの使い方」の「PCポータル」をご覧ください。

アイモーニング

パソコンで使うカレンダーです。各スポンサーが提供するカレンダー情報を利用することで、スポンサーからのイベントやサービスなどの情報を手に入れることができます。食べ物、旅行、ショッピングなどのイベント別メニューや、スポンサーのご紹介情報をクリックしてください。きっとお好みの情報や入り口が見つかります。詳しくは、「添付ソフトの使い方」の「アイモーニング」をご覧ください。

インジケータ領域(タスクトレイ)

音量や日本語入力や画面の設定のためのアイコンが並んでいます。アイコンはそれぞれ、クリックで設定メニューを表示したり、アプリケーションの状態を表示したり、いろいろな働きをします。詳しくは「サポートセンタ」で、各アプリケーションの使い方をご覧ください。



チェック!!
デスクトップ上のアイコンは、モデルによって異なります。



参照
サポートセンタ→このPARTの「電子マニュアルを見る」(p.88)



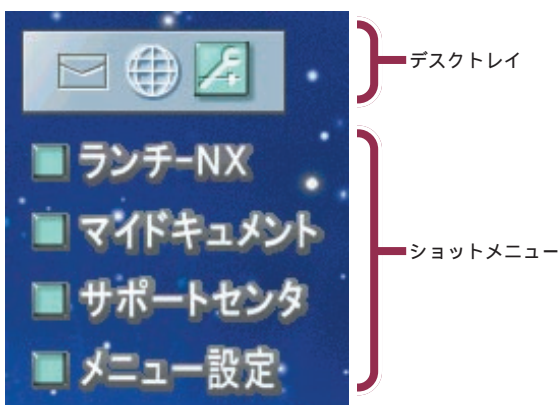
チェック!!
インターネット接続の準備ができていない場合は、それぞれ次のようなページが表示されます。

- ・ジャンル別メニューをクリックしたとき、またはポイントしたとき→ハードディスクに保存されている、各ジャンルに応じた企業別のご紹介ページのリンク集
- ・「検索サービス」をクリックしたとき→「[PCポータル]BIGLOBEサービスのご紹介」画面
- ・各企業別の絵柄部分ををクリックしたとき→ハードディスクに保存されている、各企業別のご紹介ページまたは「[PCポータル]BIGLOBEサービスのご紹介」画面

アクティブメニュー NX を見る

パソコンの電源を入れたときに、いつも画面右上に表示されているのが、アクティブメニュー NX です。

アクティブメニュー NX には、メールの着信状況やインターネットの接続状態が一目でわかる「デスクトレイ」と、ソフトをすぐにはじめられる「ショットメニュー」の 2 つがあります。



新しくメールが届いているかどうか、確認できます。



インターネットで電話回線を使っている(接続中)かどうか、確認できます。



クリックすると、「アクティブメニューNXの設定」画面が表示されます。アクティブメニューNXに表示する項目や、表示のしかたなどを設定できます。

アクティブメニュー NX



参考

メール確認について→「添付ソフトの使い方」-「アクティブメニュー NX」

参考

インターネット接続確認について→「添付ソフトの使い方」-「アクティブメニュー NX」

参考

アクティブメニューNXの設定→「添付ソフトの使い方」-「アクティブメニュー NX」

■ ランチ-NX

クリックすると、「ランチ-NX」が表示されます。「ランチ-NX」を使うと、このパソコンに入っているソフトがジャンル別に表示されるので、使いたいソフトをすぐにはじめられます。

■ マイドキュメント

クリックすると、ワープロなどで作成した文書や、画像データなどの一覧が表示されます。

■ サポートセンタ

クリックすると、「サポートセンタ」が起動します。パソコンに入っているソフトの使いかたや、トラブルが起きたときの対処法などを見ることができます。

■ メニュー設定

クリックすると、「アクティブメニュー-NXの設定」画面が表示されます。と同じ機能です。

参照

ランチ-NX → 『使っておぼえるパソコンの基本』後編の「ソフトウェア」の「ソフトをはじめる(起動)」



参照

サポートセンタ → このPARTの「電子マニュアルを見る」(p.88)

参照

アクティブメニュー-NXの設定 → 
「添付ソフトの使い方」-「アクティブメニュー-NX」

これからの進め方



前のPARTで、このパソコンを使う準備は整いました。
このページでは、これからの進め方をチェックしてみましょう。

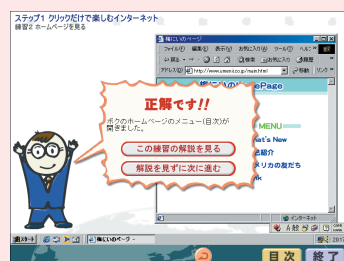
1

パソコンやインターネット、文字入力の基本操作をマスターする

学習ソフト「パソコンのいろは」で、パソコンやインターネット、文字入力の基本操作を練習しましょう。

パソコンの操作に十分慣れていて、パソコンの操作を練習しなくても大丈夫という方は、次へ進んでください。

次ページへ



2

インターネットを無料体験する

このパソコンには、インターネットを無料で体験できるソフトが入っています。インターネットを無料体験してみましょう。
まだインターネットを体験したくないという方は、次へ進んでください。

p.80 へ



3

インターネットやメールを使いこなすソフトを使う パソコンの機能を拡張する

電子マニュアル「サポートセンタ」や他のマニュアルを参照し、自分の目的に合わせてパソコンを使いこなしていきましょう。

電子マニュアルへ (p.88)
他のマニュアルへ (p.93)

パソコンの 基本操作を学ぶ



このパソコンには「パソコンのいろは」というパソコン学習ソフトが入っています。はじめてパソコンを使う方は、「パソコンのいろは」で基本操作を練習しましょう。

パソコンの操作に十分慣れていて、パソコン操作の練習をしなくても大丈夫という方は、次の「インターネットに接続できることを確認する」(p.80)をご覧ください。

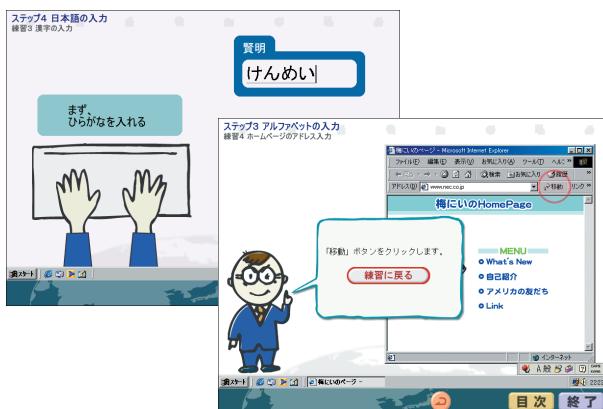
「パソコンのいろは」ってなに？

「パソコンのいろは」は、案内役「梅にい」が出す問題に答えていくうちに、自然とパソコンやインターネットの基本操作をマスターできるパソコン学習ソフトです。説明を読むだけでなく、実際にマウスやキーボードを使って練習します。操作のしかたがわからなくても、「梅にい」がガイドしてくれるので、はじめてパソコンを使う人も安心して学べます。

これが頼りになる「梅にい」だ！



ぼくが「パソコンのいろは」の案内役です。
梅にいちゃん、略して「梅にい」。
ぼくと一緒にパソコンの基本をマスターしよう！



「パソコンのいろは」では、次のような操作を練習できます。これらはすべて、パソコンを使うときの基本になる操作です。パソコンをはじめて使う方はもちろん、自信のないステップがあるときは、まず「パソコンのいろは」で基本操作をマスターしてください。



■ ステップ 1

クリックだけで楽しむ
インターネット

マウスの使い方や、インターネットでホームページを見るときの基本操作を練習します。ここで練習しておけば、インターネットもバッチリ！



■ ステップ 5

選択と設定の基本操作

パソコンやインターネットで、いろいろな選択や設定をするときの練習をします。パソコンを使っていると、設定はつきもの。ここで練習しておこう！



■ ステップ 2

ウィンドウの基本操作

インターネットでホームページを見たり、ワープロソフトなどのアプリケーションを使うためのウィンドウ(窓)の基本操作を練習します。アプリケーションを使うには、ウィンドウの大きさを変えたり、ウィンドウに表示されている内容をスクロールして見る操作は必須！



■ ステップ 6

文章の入力と修正

長い文章を入力したり、入力した文章を修正する練習をします。ここで練習して、ワープロや電子メールでの文字入力に役立てよう！



■ ステップ 3

アルファベットの入力

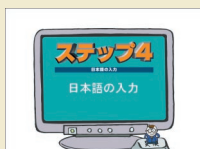
アルファベットや数字の入力を練習できます。雑誌などに記載されているホームページアドレスは、アルファベットや数字で入力します。ここでホームページアドレスの入力を覚えよう！



■ ステップ 7

複数のウィンドウの操作

複数のウィンドウを同時に扱うときの練習をします。パソコンを使いこなしてくると、同時に複数のウィンドウを扱うこともあります。ここでマスターしよう！



■ ステップ 4

日本語の入力

日本語(ひらがな・カタカナ・漢字)の入力を練習します。また、キーワードを使ってホームページを検索する練習もします。日本語入力の基本をマスターしよう！



■ ステップ 8

ファイルの保存

ワープロで作った文書などのデータを保存する練習をします。自分で作ったデータをちゃんと保存できるようにしよう！

「パソコンのいろは」をはじめる前に

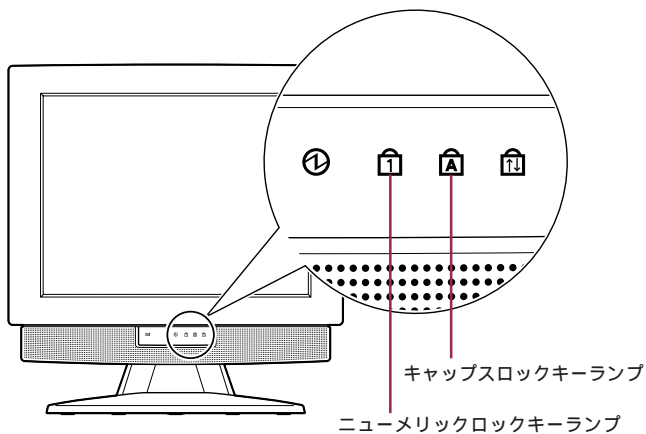
「パソコンのいろは」をはじめる前に、次のことを確認してください。

・ニューメリックロックキーランプが点灯していることを確認する

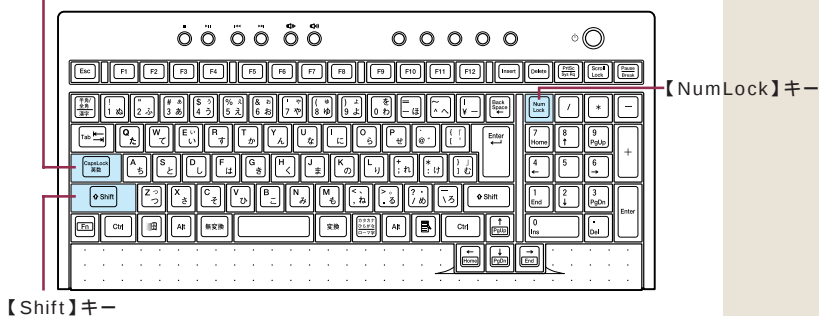
ニューメリックロックキーランプ  が消えているときは、キーボードの【NumLock】キーを押してランプを点灯させてください。

・キャップスロックキーランプが消えていることを確認する

キャップスロックキーランプ  が点灯しているときは、キーボードの【Shift】キーを押したまま【CapsLock】キーを押してランプを消してください。



【CapsLock】キー



【Shift】キー

✓ チェック!!

「パソコンのいろは」をはじめるときは、次のことにも注意してください。

- ・他のアプリケーションが起動しているときは、すべて終了させてください。すべて終了しておかないと、「パソコンのいろは」が正常に動作しないことがあります。
- ・画面の解像度が800×600ピクセル以上でないと利用できません。

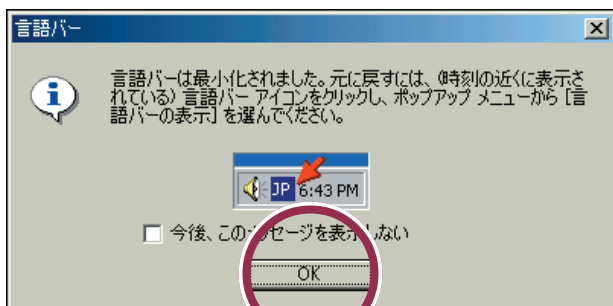
📖 参照

解像度について →  「添付ソフトの使い方」-「ディスプレイの設定」

・日本語入力ツールバーを最小化する(Office XP モデルの場合)

Office XPモデルの場合、日本語入力ツールバーが練習の邪魔になることがあるので「パソコンのいろは」をはじめる前に、日本語入力ツールバーを最小化します。次の操作をしてください。

1 日本語入力ツールバーの - をクリックする



2 「OK」をクリックする

✓ チェック!!

- ・ デスクトップに日本語入力ツールバーが表示されていないときは、デスクトップのなにもないところをクリックしてください。日本語入力ツールバーが表示されたら、手順 1 以降を行ってください。
- ・ すでに日本語入力ツールバーが最小化されている場合は、画面右下のタスクトレイに JP が表示されています。
- ・ 「パソコンのいろは」は、練習のために擬似的な日本語入力ツールバーを表示します。このページの手順で日本語入力ツールバーを最小化しておかないと、画面に日本語入力ツールバーが 2 つ表示されることがありますのでご注意ください。

・「パソコンのいろは」を終了したら（Office XP モデルの場合）

「パソコンのいろは」での練習を終了したら、次の操作で日本語入力ツールバーを元に戻してください。



日本語入力ツールバーが表示され、JP の表示が消えます。

「パソコンのいろは」をはじめる

1

パソコンの画面右上に「ランチ-NX」が表示されていることを確かめる

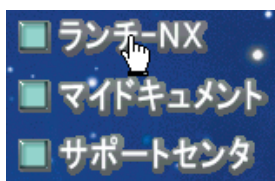


画面の右上に「ランチ-NX」という文字が表示されない場合

最初にパソコンの電源を入れたときの設定がきちんとできていません。PART3の「このパソコンの機能を使えるようにする」(p.48)の手順を行ってください。

2

「ランチ-NX」にマウス(矢印)を合わせ、マウス(手のマーク)になったらマウスの左ボタンを1回押す



↓ 「ランチ-NX」が起動する

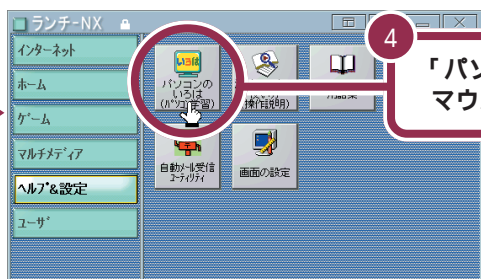
3

「ヘルプ&設定」にマウスを合わせ、マウスの左ボタンを1回押す



4

「パソコンのいろは」にマウスを合わせ、マウスの左ボタンを1回押す



「パソコンのいろは」をはじめる

● はじめて起動した場合

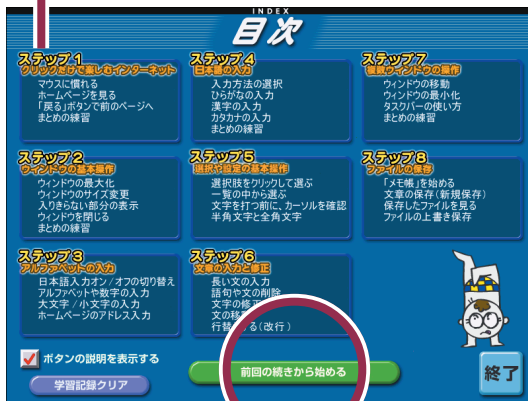
タイトルが表示された後、自動的に「ステップ1」がはじまります。画面の説明を見ながら練習を進めてください。



● 2回目以降に起動した場合

「目次」が表示されます。

練習したい項目をクリックすると、自動的に説明と練習がはじまる



ここをクリックすると、前回の続きからはじまる

パソコンをはじめて使う方や、パソコンの基本操作に自信のない方は、ステップ1から順番に練習してください。

「パソコンのいろは」では、効果音などが出るようになっています。音が大きすぎるときや小さすぎるときは、音量を調節してください。

参照

音量の調節→付録の「音量を調節する」(p.98)

「パソコンのいろは」の進め方

「パソコンのいろは」では、次のような画面でパソコンの基本操作を学びます。「梅にいい」のガイドにしたがって、練習を進めてください。

このボタンをクリックすると、
ひとつ前の状態に戻ります



このボタンをクリックすると、「パソコンのいろは」を終了します

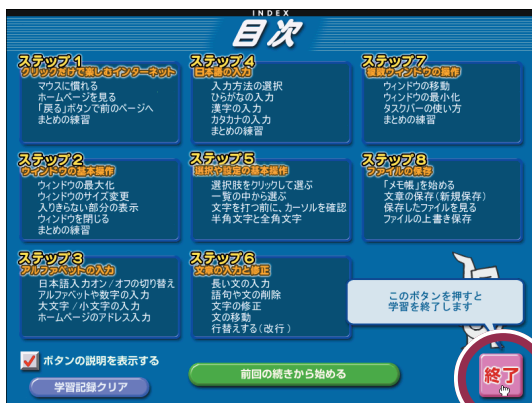
このボタンをクリックすると、「梅にいい」が練習のヒントを教えてください

このボタンをクリックすると、目次が表示されます

「パソコンのいろは」を終わる

「パソコンのいろは」を終了しても、どこまで練習を進めたかが自動的に記録されます。次に「パソコンのいろは」を起動するときは、前回の続きからはじめられます。

● 目次画面で終了する場合



✓ チェック!!

練習中に間違ったキーを押してしまい、しばらくたっても画面に何の変化も起こらず、練習が続けられなくなった場合は、【**画**】キーを何度か押してみてください。「練習に戻る」と表示されたら、クリックして練習を進めてください。

Office XPモデルの場合、「パソコンのいろは」を終了したら、最小化した日本語入力ツールバーを元に戻してください。

📖 参照

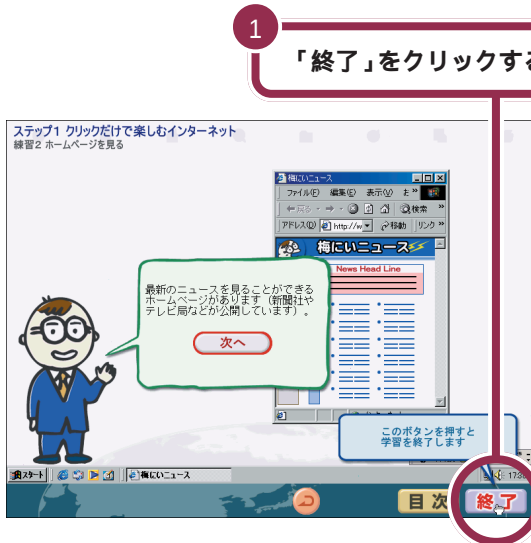
日本語入力ツールバーを元に戻す (p.75)

1

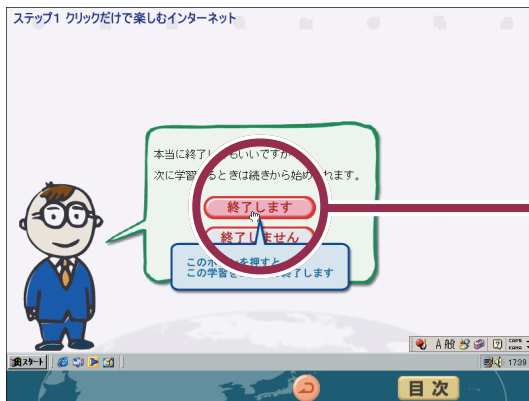
「終了」をクリックする

●ステップの途中で終了する場合

各ステップの途中でも、「パソコンのいろは」を終了できます。



1 「終了」をクリックする



2 「終了します」をクリックする

練習や説明の途中で終了したときは、次に起動したときに「前回の続きから始める」をクリックすると、中断した練習の最初からはじまります。

✓チェック!

なるべく各ステップの終了後に、「パソコンのいろは」を終了するようにしましょう。

すべてのステップの練習が終わったら

すべてのステップの操作をマスターしたら、次ページの「インターネットに接続できることを確認する」に進み、インターネットを無料体験してみてください。

まだ自信のないステップが残っている方は、そのステップをマスターしてから次ページに進むといいでしょう。

インターネットに接続 できることを確認する

電話回線に正しく接続できていれば、すぐにインターネットに接続してみることができます。



用語

アクセスポイント

一般の電話回線(またはISDN回線)に対して開かれた、インターネットへの入り口になっている場所(電話番号)のことです。インターネットに接続するには、あなたのパソコンからアクセスポイントに電話をかけます。

ボタンひとつでインターネットに接続

セットアップが終了し、PART2の「電話回線に接続する」で電話回線に正しく接続できていれば、すぐにインターネットに接続できます。キーボードの【インターネット】ボタンを押して、1回クリックするだけで、もっとも近いアクセスポイントが自動選択され、インターネットへの接続が始まります。

「インターネット無料体験」では、アクセスポイントまでの電話料金以外に費用はかかりません。さっそくインターネットに接続してみましょう。

アクセスポイントの自動選択は、NTTの「ナンバーディスプレイ(発信電話番号通知サービス)」で通知された、お客様の電話番号によって行われます。以下のような場合は、「アクセスポイントを手動選択したいとき(p.85)の手順で、アクセスポイントを手動選択してください。

- ・NTTと、電話番号を相手に通知しない契約(「回線ごと非通知」)をしていて、そのまま電話番号を通知したくない場合
- ・電話番号を非通知にする契約をしていない(NTTとの契約が「通話ごと非通知」になっている)が、「インターネット無料体験」では自分の電話番号を通知したくない場合
- ・テレジョーズやテレチョイスなどの利用のため、特定のアクセスポイントを指定したい場合

なお、発信されたお客様の電話番号は、無料体験のアクセスポイントの自動選択のみに使用し、自動選択後、ただちに消去されます。

● 無料体験をはじめる前に

パソコンの「日付と時刻」の設定が正しいかを、かならず確認してください。もし、日付と時刻が正しくない場合は、『困ったときのQ&A』PART2の「その他」をご覧ください。

参考

インターネット無料体験→『使っておぼえるパソコンの基本』前編の「PART1 まずはインターネットを体験」

参考

インターネット接続にかかる料金について→『使っておぼえるパソコンの基本』前編PART2の「プロバイダに入会しよう」

チェック!

- ・「インターネット無料体験」はADSL回線を使って利用することはできません。
- ・「インターネット無料体験」はBIGLOBEとの契約を強制するものではありません。
- ・アクセスポイントを自動選択する間はフリーダイヤルで電話をかけるため、電話料金はかかりません。アクセスポイント決定後、インターネット無料体験中のアクセスポイントまでの電話料金は、お客様のご負担となります。
- ・NTTとの契約がどうなっているかわからないときは、NTTにお問い合わせください。NTTに特に指定していないときは「通話ごと非通知」になっています。
- ・NTT以外の電話会社を経由した通信では、アクセスポイントの自動選択が利用できない場合があります。その場合は、アクセスポイントの手動選択を行ってください。

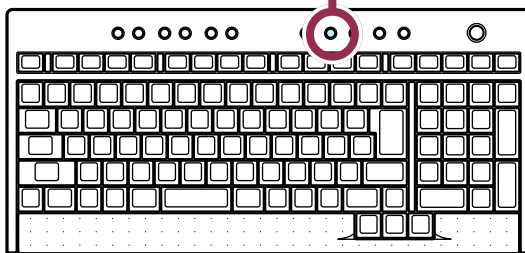
インターネット無料体験でインターネットを体験できるのは、体験を開始した日から14日以内のデイトタイム(6:00~21:00)です。期間中はインターネット接続が使い放題です。ここでインターネットに接続できることを確認すると、14日後にインターネット無料体験が利用できなくなります。すぐにインターネットを利用する予定がない場合はご注意ください。

1

電話回線の接続と、パソコンのセットアップが完了しているか確認する

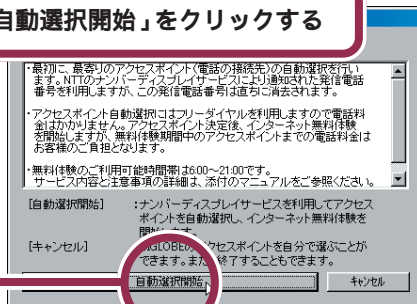
2

キーボードの【インターネット】ボタンを押す

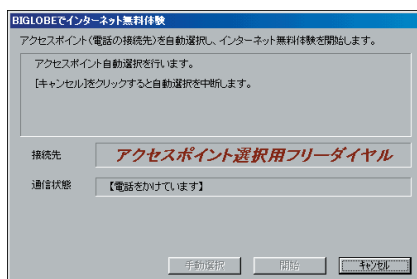


3

「自動選択開始」をクリックする



次の画面が表示され、アクセスポイントの自動選択が始まる



✓チェック!!

このパソコンでは、2004年3月31日までインターネット無料体験を利用できます。この期間が過ぎると、自動的に終了します。

📖 参照

電話回線の接続→PART2の「電話回線に接続する」(p.24)

デスクトップの「インターネット無料体験」をダブルクリックして「インターネット無料体験」を起動することもできます。

✓チェック!!

- ・インターネット無料体験を中止する場合、まだ開始したくない場合は、「キャンセル」をクリックしてください。その後、「終了」をクリックしてください。
- ・アクセスポイントを手動で選択したい場合は「キャンセル」をクリックしたあと、「アクセスポイントを手動選択したいとき」(p.85)の手順3以降を行ってください。

📖 参照

手順通りにインターネットに接続できない場合→「こんなときは」(p.84)それでも解決できない場合→「サポートセンタ」「インターネットトラブルシューティング」または「トラブル解決Q&A」-「インターネット/通信」

4

しばらくすると、次のいずれかの画面が表示される

- 市内通話料金で利用できるアクセスポイントが選択された場合

市内通話料金で利用できるBIGLOBEのアクセスポイントが見つかりました。
省くすると下記電話番号に自動的にダイヤルを開始します。

アクセスポイントを変更される場合
→ダイヤル開始前に「手動選択」をクリックしてください。
アクセスポイント一覧からご自分で選択いただけます。

アクセスポイントが自動選択されました。手順 5 に進んでください。

- 市内通話料金で利用できないアクセスポイントが選択された場合

最も近所と思われるBIGLOBEのアクセスポイントが見つかりました。
省くすると下記電話番号に自動的にダイヤルを開始します。

アクセスポイントを変更される場合
→ダイヤル開始前に「手動選択」をクリックしてください。
アクセスポイント一覧からご自分で選択いただけます。

アクセスポイントが自動選択されました。手順 5 に進んでください。

5

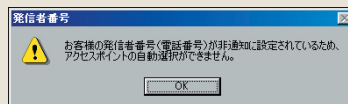
しばらくすると、インターネットに接続される

「接続中」であることを示すウィンドウが表示された後、「インターネットエクスプローラ」のウィンドウが表示されて、「BIGLOBE インターネットどきどき体験」のホームページが表示されます。



チェック!!

ここで次のような画面が表示されたときは、NTTとの契約が「回線ごと非通知」になっています。



- ・ 電話番号を通知しても構わないときは、「OK」をクリックした後、「開始」をクリックしてください。通知されるのは、アクセスポイントの自動選択時のみです。その後は非通知になります。
- ・ 電話番号を通知したくないときは、アクセスポイントを自動選択できません。「OK」をクリックした後、「手動選択」をクリックして、「アクセスポイントを手動選択したいとき」(p.85)の手順 4 以降を行って、アクセスポイントを手動選択してください。

チェック!!

パソコンがホームページを表示するのに必要な情報を集めている間、画面右上のが回転( →  → )します。そのページの表示が完了すると回転は止まります。

電話回線が混み合っている場合や、画像をたくさん使っているホームページの場合など、表示が完了するまで時間がかかることがあります。このが回転している間はそのまましばらく待ちましょう。

それでも待ちきれないときは、 (中止)をクリックすると表示を中断できます。

6

が表示されていることを確認する



画面の右下にが表示されているときには、インターネットに接続されているので電話料金がかかっています。
接続できることを確認したら、ここではひとまず無料体験を終了しましょう。無料体験をもっと楽しみたい人は、『使っておぼえるパソコンの基本』前編の「PART1 まずはインターネットを体験」をご覧ください。

チェック!!

画面の右上に表示されているでも、インターネット接続の確認ができます。が水色に変わって回転しているときは、インターネットに接続されています。

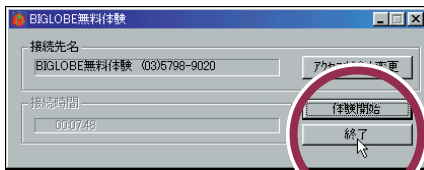


インターネットを終了する



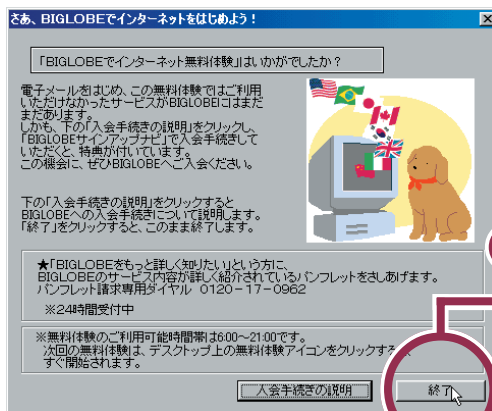
1

閉じる をクリックする



2

「終了」をクリックする

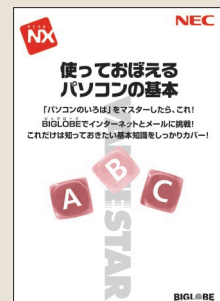


3

「終了」をクリックする

これで電話回線が切断されました。ここから先は、電話料金はかかりません。

無料体験をもっと楽しみたい方は、『使っておぼえるパソコンの基本』前編の「PART1 まずはインターネットを体験」をご覧ください。



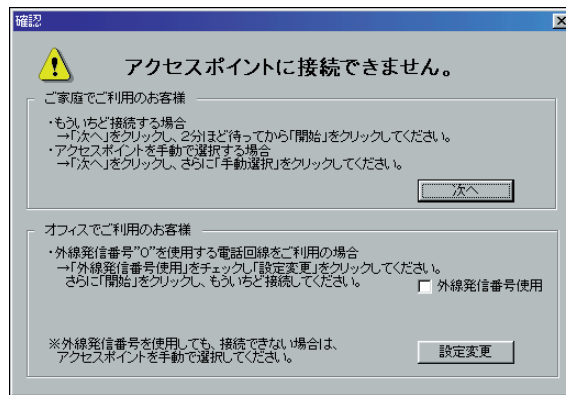
こんなときは

インターネット無料体験で困ったことが起きたときは、次の説明を参考に対処してください。

アクセスポイントに接続できなかったとき



「アクセスポイントに接続できません。」と表示された



メッセージの内容は場合によって異なります。

- ご家庭など、外線発信番号「0」を使用しない電話回線をご利用の場合
回線が混雑しているなどの原因が考えられます。次の手順で、もう一度、アクセスポイントの自動選択を行ってください。
 - 1 「次へ」をクリックする。
 - 2 2分ほど待ってから「開始」をクリックする。
アクセスポイントの自動選択が始まります。
- 会社など、外線発信番号「0」を使用する電話回線をご利用の場合
外線発信番号「0」の設定が正しくないことが考えられます。次の手順で外線発信番号の設定をし、再度、アクセスポイントの自動選択を行ってください。
 - 1 「外線発信番号使用」をチェックする。
 - 2 「設定変更」をクリックする。
 - 3 「開始」をクリックする。
フリーダイヤルに接続され、アクセスポイントが自動選択されます。
その後、アクセスポイントに接続され、「BIGLOBE インターネットどきどき体験」のホームページが表示されます。

- ✓ **チェック!!** アクセスポイントの自動選択で、どうしてもアクセスポイントが選択できない場合は、前ページの画面で「次へ」をクリックし、次の「アクセスポイントを手動選択したいとき」の手順3以降を行い、アクセスポイントを手動選択してください。

👉 「アクセスポイントを自動選択できませんでした。」と表示された



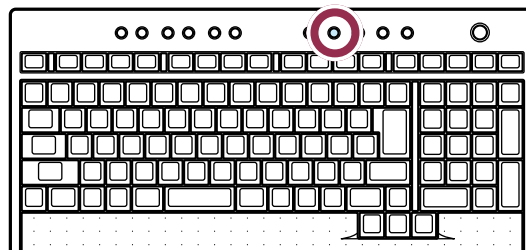
何らかの理由でアクセスポイントの自動選択ができませんでした。「OK」をクリックし、次の「アクセスポイントを手動選択したいとき」でアクセスポイントを手動選択してください。

- ✓ **チェック!!** その他、どうしてもインターネットに接続できない場合は、📞 サポートセンター-「インターネットトラブルシューティング」または「トラブル解決Q&A」-「インターネット/通信」をご覧ください。

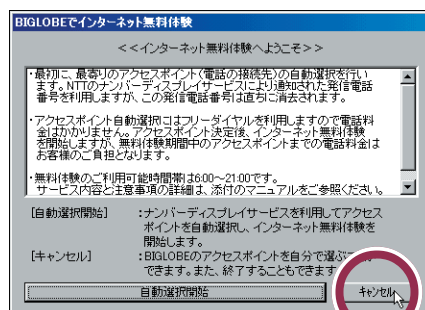
アクセスポイントを手動選択したいとき

- ✓ **チェック!!** 「ナンバーディスプレイ(発信電話番号通知サービス)」についてNTTとの契約がどうなっているかわからないときは、NTTにお問い合わせください。

1 キーボードの【インターネット】ボタンを押す。

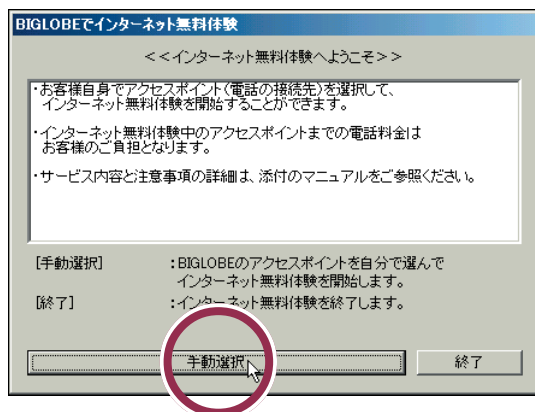


2 「キャンセル」をクリックする。



インターネットに接続できることを確認する 85

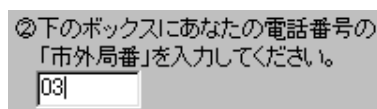
3 「手動選択」をクリックする。



✓ **チェック!!** インターネット無料体験を中止する場合は、「終了」をクリックしてください。

4 「市外局番」の入力欄に市外局番を入力する。

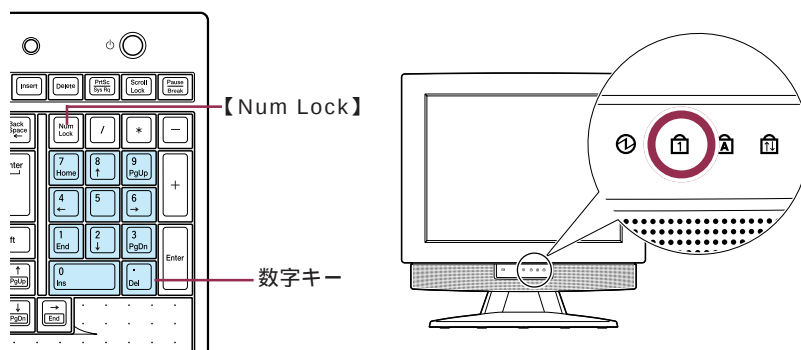
このパソコンに接続した電話回線の市外局番を入力します。



東京都 23 区内(市外局番は 03)の場合の入力例

入力欄に「|」が点滅していない場合は、入力欄に矢印(マウス)を合わせて、「I」の形に変わったらクリックしてください。

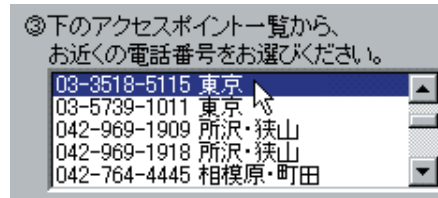
市外局番を入れるには、数字キーを使います。



✓ **チェック!!** ディスプレイ前面の①のランプが消えているときは数字キーが使えません。キーボードの【Num Lock】を押してランプを点灯させてください。

5 アクセスポイント一覧の中からひとつ選んでクリックする。

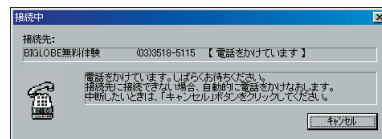
手順4で入力した「市外局番」から判断して、近くにあるアクセスポイントが自動的に表示されます。その中から選んでください。



- ・ 同じ都市名で2つ以上の電話番号がならんでいる場合は、どれかひとつを選んでクリックしてください。これは1か所のアクセスポイントに電話が集中するのを避け分散させるために用意されたものなので、どれを選んでも構いません。
- ・ インターネット無料体験では、インターネット接続料金はかかりませんが、アクセスポイントまでの電話料金がかかります。電話料金を少しでも安くするために、なるべく近くにあるアクセスポイントを選んでください。
- ・ 市外局番の変更があった場合は、古い市外局番が使われているアクセスポイントを選ぶと、電話がつかないことがあります。この場合は、アクセスポイントの自動選択を行うか、他のアクセスポイントを選択してください。

6 「体験開始」をクリックする。

次の画面が表示され、パソコンがアクセスポイントに、自動的に電話をかけます。そのまま、しばらく(数十秒)何も操作せずに、待っててください。
接続先が話し中の場合、自動的に電話をかけ直します。つながるまで、しばらくお待ちください。

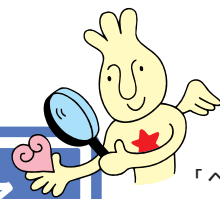


インターネットに接続されると、「インターネットエクスプローラ」のウィンドウが表示されて、「BIGLOBEインターネットときどき体験」のホームページが表示されます。以降はp.82の手順5からの説明にしたがって操作してください。



電子マニュアルを見る

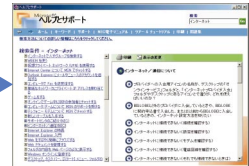
このパソコンには「サポートセンタ」という、パソコンの画面上で見るマニュアル(電子マニュアル)が入っています。「サポートセンタ」では、このパソコンに入っているアプリケーションの紹介や操作手順の説明をしています。その他にも、サポート窓口一覧や「困ったときのQ&A」もあります。



「ヘルプとサポート」や「サポートセンタ」の項目の中にはクリックするとインターネットに接続するものがあります。問題が解決したら必ずインターネットから切断してください。タスクトレイのインターネット接続アイコンを右クリックして表示されるメニューの中から「切断」をクリックしてください。

「インターネットエクスプローラ」「ヘルプとサポート」「サポートセンタ」の画面を閉じてインターネット接続は切断されない場合があります。

キーワードで「トラブル解決 Q & A」を検索する



「トラブル解決Q & A」の項目をキーワードから検索することができます。

「サポートセンタ」の項目には項目の後ろに「(NEC)」がついています。

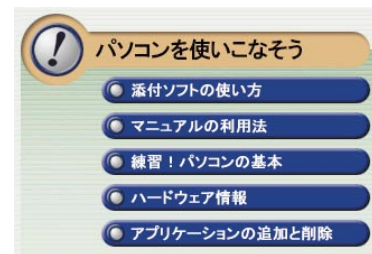
参考 『困ったときのQ&A』PART1の「サポートセンタを見る」

用語集 - パソコン用語を約 300 語収録!



知らない用語を、すばやく検索

パソコンを使いこなそう



次ページへ進む

「サポートセンタ」を見る

1 **サポートセンタ** をクリックする



キーボードの【サポート】ボタン (p.97) を押しても、「サポートセンタ」を起動できます。

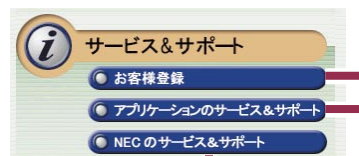


サポートセンタについて



「サポートセンタ」の使い方や内容を紹介しています。詳しく知りたい方は、ここをご覧ください。

このパソコンのサービスやサポートについて

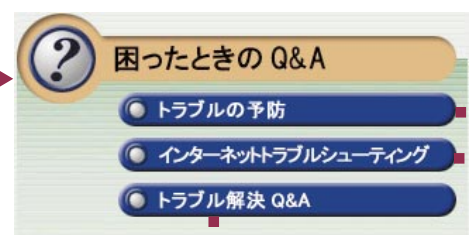


このパソコンのユーザーとして登録するための案内です。

このパソコンに添付されているソフトの、製造元各社のサポート窓口一覧です。

NEC が行っている、パソコンに関するさまざまなサービスやサポート窓口の案内です。

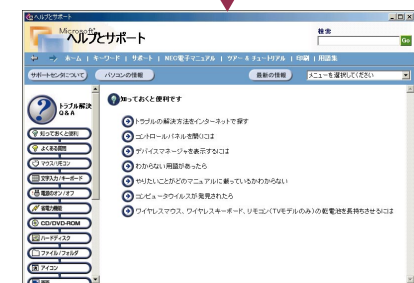
トラブルの予防法と解決法について



ウイルスやハードディスクの故障など、もしものトラブルを予防してくれるソフトの使い方を説明

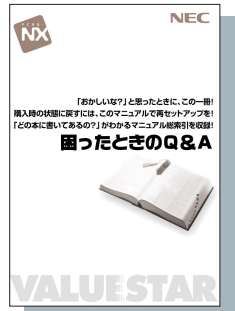
モデムの診断や、インターネットでのトラブル解決法を説明

トラブルの解決法を Q & A 形式で説明



トラブル解決のヒントは、この2つ!

トラブル解決のためのQ&Aは、サポートセンタと、紙のマニュアル『困ったときのQ&A』に説明があります。困ったときは、この2つをご覧ください。



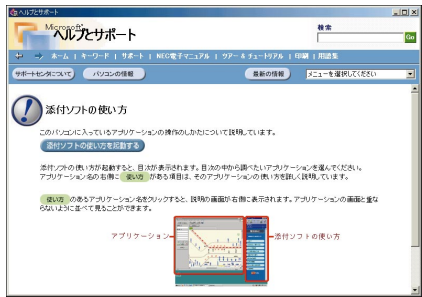
パソコンを使いこなそう

ソフトの使い方が分からない！

● 添付ソフトの使い方

ソフトの使い方が分からないときはココ！
「添付ソフトの使い方」をクリックすると、「添付ソフトの使い方」が起動します。目的に合ったものをクリックし、ソフト名をクリックすると説明が表示されます。そのソフトの使い方の説明を見ながらソフトを使えます。

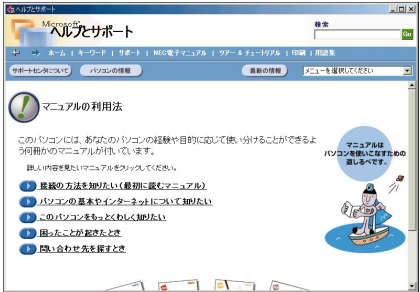
参考
添付ソフトを使いながら操作方法の説明を見る→『使っておぼえるパソコンの基本』前編 PART7 の「ソフトの使い方を調べる」



どのマニュアルを読めばいいの？

● マニュアルの利用法

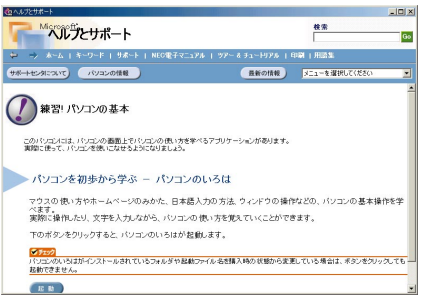
知りたいことがあるけど、マニュアルのどこを読めばいいのか分からない。そんなときは、ココ！



パソコンの基本を勉強したい

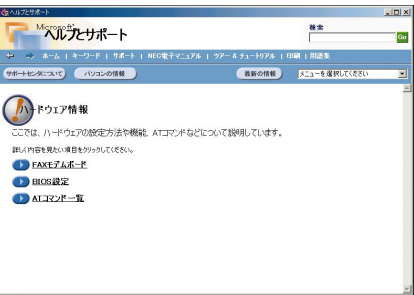
● 練習！ パソコンの基本

キーボードやマウスの操作のしかたやインターネットのやり方など、パソコンの基本を練習するためのソフト「パソコンのいろは」を起動できます。



● ハードウェア情報

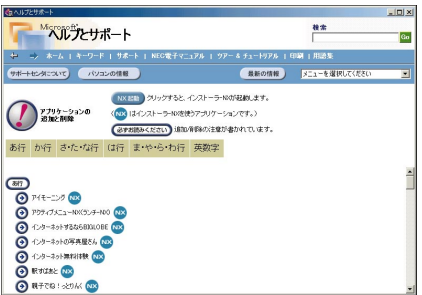
FAX モデムや AT コマンド、BIOS について説明しています。



アプリケーションを追加したり削除したい

● アプリケーションの追加と削除

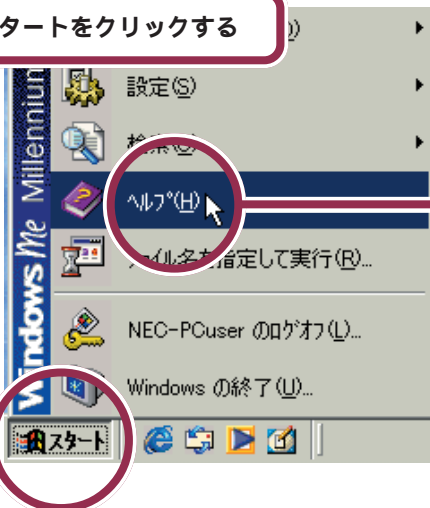
使用しなくなったアプリケーションを削除したい、あるいは、アプリケーションを削除したけどインストールし直したいと思ったら、ココ！
市販のアプリケーションをインストールしたいときもここをご覧ください。



Windows のヘルプを見る

1

スタートをクリックする



2

ヘルプをクリックする



「ヘルプとサポート」や「サポートセンタ」の項目の中にはクリックするとインターネットに接続するものがあります。問題が解決したら必ずインターネットから切断してください。タスクトレイのインターネット接続アイコンを右クリックして表示されるメニューの中から「切断」をクリックしてください。

「インターネットエクスプローラ」「ヘルプとサポート」「サポートセンタ」の画面を閉じてインターネット接続は切断されない場合があります。

調べたいことをクリックして、Windowsのヘルプを見ることができます。



ここをクリックしても「サポートセンタ」を見ることができます。

「ヘルプとサポート」の最初の画面を表示します。

前に見ていた画面を表示することができます。

キーワード検索の画面を表示します。

サポートセンタの最初の画面を表示します。

Windows についての説明を表示します。

用語集を起動します。



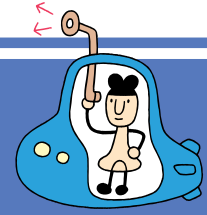
「戻る」ボタンを押す前に画面を表示することができます。

Microsoft や NEC サポート窓口を表示します。

現在表示されている画面の内容を印刷します。

他のマニュアルに進んでみる

ここでは、このパソコンに添付されている他のマニュアルの紹介をします。自分の目的に合ったマニュアルに進みましょう。



パソコンやインターネットの基本操作を覚えたい！



使っておぼえるパソコンの基本

インターネットや電子メールを利用したい、ワープロの使い方を知りたい、ファイルを整理したい、という方は、このマニュアルをご覧ください。

パソコン学習ソフト「パソコンのいろは」で学んだことの復習にも適しています。

- ・インターネットの利用のしかた
- ・プロバイダ (BIGLOBE) への入会のしかた (BIGLOBE については、添付のパンフレット『BIGLOBE インターネットスタートブック』にも紹介されています)
- ・電子メールの出し方と受けとり方、自動受信のしかた
- ・ワープロソフトの利用のしかた
- ・ファイルの整理のしかた
- ・いろいろなアプリケーションの使い方

パソコンに機器をつなぎたい！ もっとパソコンを使いこなしたい！

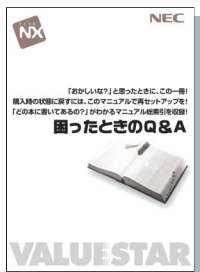


もっと知りたいパソコン

プリンタやデジタルカメラなどの周辺機器の取り付け方について書かれています。さらにパソコンを使いこなしたい、という方に役立つマニュアルです。

- ・このパソコンで使える周辺機器の紹介
- ・周辺機器の取り付け方、設定方法、使い方
- ・周辺機器を取り付けてうまく動かないときの対処法
- ・ハードウェアの活用術
- ・パソコンと携帯電話、インターネットで映像を楽しむ方法の紹介
- ・パソコンのお手入れのしかた
- ・パソコン本体の各部の名称
- ・マウスやキーボードについて
- ・機能仕様

パソコンがおかしい！ 壊れてしまった!?



困ったときの Q & A

なにか困ったことが起きたら、まずは落ち着いて、とにかくこのマニュアルを読んでみてください。さまざまなトラブルの対処法が詳しく書かれています。

- ・トラブルの予防
- ・トラブルの状況別 Q&A
- ・買った直後の状態に戻す(再セットアップ)
- ・修理、交換、譲渡などに関する情報

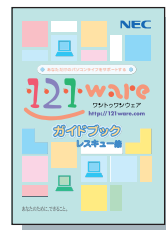
p.88 で紹介している「サポートセンタ」にも、トラブルの状況別の Q&A やお客様サポート窓口一覧があります。

他にもこんなマニュアルがあります



Microsoft Windows Me クイックスタートガイド

Windows の基本的な使い方が書かれています。



121ware ガイドブック

問い合わせ先を探すときなどに使う「サポートのためのご案内」です。



お客様登録ガイド

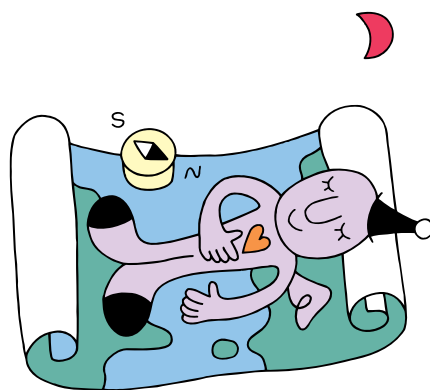
サポート、サービスを充実するために、お客様登録のしかたを案内しています。
また、お客様登録と同時に NEC が運営するプロバイダ「BIGLOBE」への入会手続きも可能です。

アプリケーションのマニュアルなど

このパソコンにインストールされているアプリケーションのマニュアルもあります。

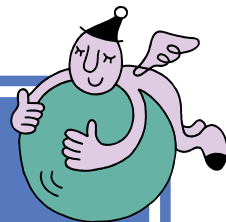
なお、各アプリケーションの紹介や基本的な使い方については、「サポートセンタ (p.88) の「パソコンを使いこなそう」で説明しています。

付 録



各部の名称と役割を覚えよう

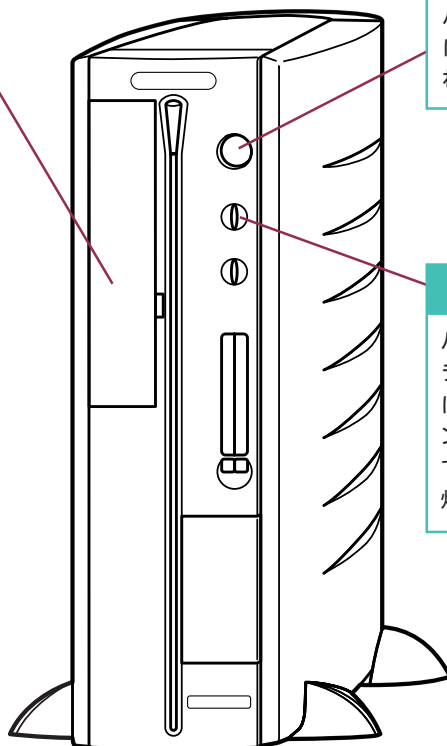
ここでは、パソコンを使っていく上で、知っている则便利な機能などを紹介します。



●パソコン本体

CD-R/RW with DVD-ROMドライブ
(CD-R/RW with DVD-ROMモデルの場合)
CD-R/RWドライブ
(CD-R/RWモデルの場合)

CD-ROM や DVD-ROM (CD-R/RW with DVD-ROM モデルのみ) 音楽用 CD などをセットする
ところです (→「CD-ROM などの
扱い方」(p.56))。



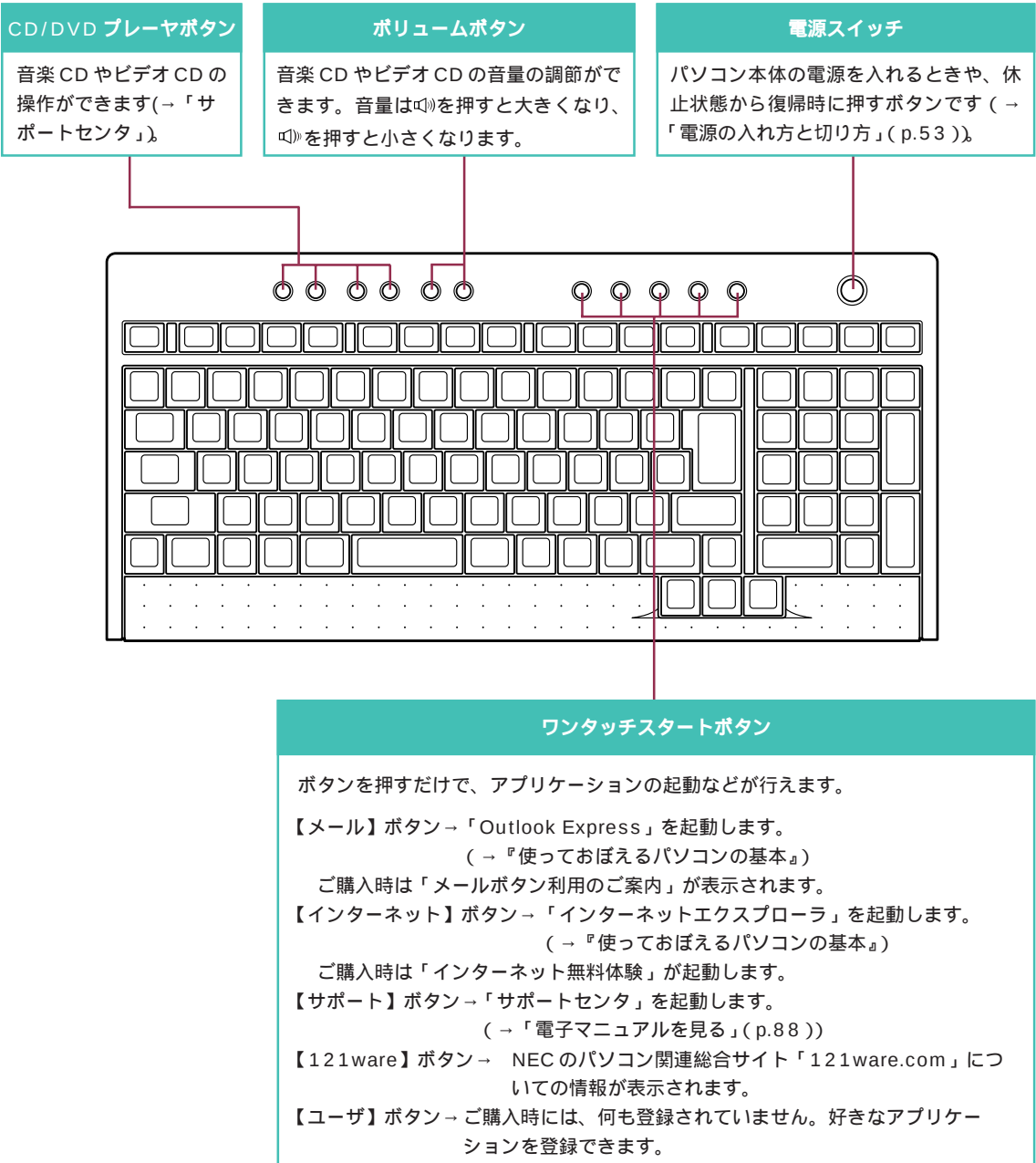
電源スイッチ (パソコン本体)

パソコン本体の電源を入れるとき
に押すボタンです (→「電源の入
れ方と切り方」(p.53))。

電源ランプ

パソコン本体の電源の状態を表す
ランプです。電源を入れると緑色
に、スタンバイ状態のときはオレ
ンジ色に点灯します。電源を切っ
ているとき、休止状態のときは消
灯します。

● キーボード



ワンタッチスタートボタンで起動するアプリケーションなどの設定は変更できます。詳しくは、「添付ソフトの使い方」-「ワンタッチスタートボタンの設定」をご覧ください。

音量を調節する



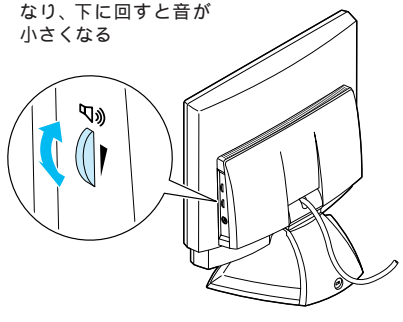
パソコンから出る音がうるさいときや、小さくて聞こえないときは、音量を調節できます。

● スピーカで調節する

1

スピーカのボリュームつまみを回す

上に回すと音が大きくなり、下に回すと音が小さくなる



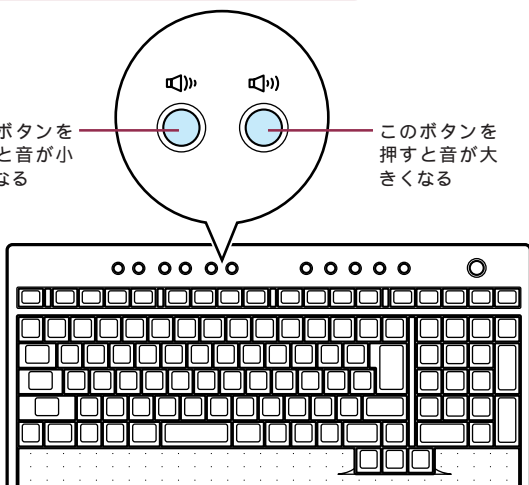
● キーボードのボリュームボタンで調節する

1

🔊 ボタンまたは🔊 ボタンを押す

このボタンを押すと音が小さくなる

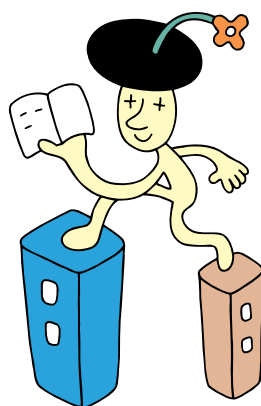
このボタンを押すと音が大きくなる



✓ チェック!!

スピーカのボリュームつまみが最小の位置になっていると、🔊 ボタンを押してもスピーカからの音は、大きくなりません。

索引



英字

BIGLOBE	67
CD/DVDプレーヤボタン	97
CD-R/RW with DVD-ROMドライブ	56,96
CD-R/RWドライブ	56,96
【Enter】キー	39,41
NECオンラインお客様登録	66
PCポータル	67
Windowsの終了	54

あ行

アース線	11,20
アースの接続	20
アイコン	66
アイモーニング	67
アクセスポイント	80
アクティブメニューNX	67,68
インジケータ領域	67
インターネット	80
インターネット無料体験	80
お客様登録	52
音量の調節	98

か行

乾電池	10,27
キーボード	27,37
休止状態	61
クイック起動ツールバー	66
クリック	44
結露	2
ごみ箱	66
ゴム足	11,16
コンセント	8,31

さ行

サポートセンタ	88
使用許諾契約	45
省電力機能	61
ショットメニュー	67,68
スクロール	45
スタート	54,66
スタートメニュー	54,66

スタビライザの取り付け	16
スタンバイ	61,63
セットアップ	36

た行

タスクトレイ	67
タスクバー	66
ディスプレイ	11,22
ディスプレイの接続	22
デスクトップ	66
デスクトレイ	67,68
電源ケーブルの接続	30
電源スイッチ	36,53,96,97
電源の取り方	8
電源ランプ	36,53,55,96
電源を入れる	36,53
電源を切る	54
電話回線の接続	24

は行

パソコンのいろは	71
パソコンの置き方	9
パソコンの置き場所	2~7
パソコンの接続	13~33
パソコンのセットアップ	35~50
保証書	12
ボリュームつまみ	98
ボリュームボタン	97,98

ま行

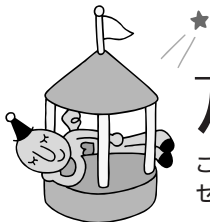
マイコンピュータ	66
マイドキュメント	66
マウス	27,37,43
マウスの動かし方	43
モジュラーケーブル	4,24

や行

ユーザ登録（お客様登録）	52
--------------------	----

わ行

ワンタッチスタートボタン	97
--------------------	----



パソコンを使う準備が終わったら

このパソコンには、あなたのやりたいことを実現するいろいろなソフトが入っています。セットアップが終わったら、さっそく試してみましょう。

パソコンやインターネットの基本操作をおぼえるなら → 「パソコンのいろは」

パソコン学習ソフト「パソコンのいろは」では、パソコンやインターネットの基本操作が練習できます。パソコンの経験がなくても大丈夫。ガイド役の「梅にい」が教えてくれます。まずはこれで基本をマスター！

詳しくは、この本のPART4「パソコンの基本操作を学ぶ」(p.71)をご覧ください。



今すぐインターネットをしたいなら → 「インターネット無料体験」



インターネット無料体験なら、面倒な準備をしなくても、ボタンひとつで今すぐインターネットに接続できます。インターネット接続料金が無料 [体験を開始した日から14日以内のデイトタイム (6:00 ~ 21:00)] なので、安心してインターネットの世界を体験できます。本格的にインターネットをはじめる前に、ここで体験！
詳しくは、この本のPART4「インターネットに接続できることを確認する」(p.80)をご覧ください。

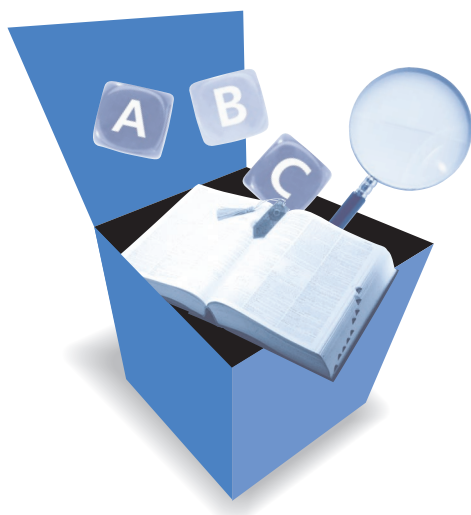
ソフトの使い方やパソコンの設定が知りたいなら → 「サポートセンタ」

「サポートセンタ」は、画面で見るマニュアル(電子マニュアル)です。このパソコンに入っているソフトの使い方や、パソコンの詳しい情報や設定方法、困ったときのQ&Aなどが見られます。もっとパソコンを知りたくなったら、「サポートセンタ」！
詳しくは、この本のPART4「電子マニュアルを見る」(p.88)をご覧ください。



はじめに
お読みください

VALUESTAR



PC98-NX SERIES

VALUESTAR

初版 2001年5月
NEC
P
853-810336-008-A